

# IMMレポート

～設計フェーズの検討内容～

---

**MRI** 三菱総合研究所

海外事業本部

2024年5月

# 目次

---

<u>プロジェクトの全体像</u>	3
<u>プロジェクトサマリー</u>	6
<u>ミダス財団小学校設立事業について</u>	23
<u>対象プロジェクトに関する社会課題の整理</u>	29
<u>ステークホルダー提供価値整理</u>	59
<u>ToCおよびロジックモデル</u>	62
<u>指標の設定と収集データ</u>	65

# プロジェクトの全体像

---

- IMMプロジェクトの実施事項とスケジュール

# プロジェクト調査概要

- 以下の内容について、ミダス財団とMRIの協力チームで遂行した。

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ロジックモデルを策定し、ミダス財団の小学校事業を通じて生み出す社会的インパクトの理論的整理と期待されるアウトカム・インパクトを明確にする</li> <li>▶ インパクト指標・データ収集の検討を行い、ミダス財団のIMM(Impact Measurement &amp; Management)を設計する</li> </ul>
<p>成果物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 以下を含むインパクトレポート:社会課題整理、TOC、ステークホルダー提供価値、ロジックモデル、インパクト指標、指標データ・収集方法</li> <li>▶ 成果物の活用方法(例:プレスリリース・成果報告セミナー等)については、協議して決定する</li> </ul>
<p>実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業スコープの決定、社会課題(市場性・生み出せるインパクトの推計含む)、ステークホルダー提供価値整理</li> <li>▶ TOC・ロジックモデル策定</li> <li>▶ インパクト指標およびデータ収集方法の検討、インパクトデータの収集※</li> <li>▶ インパクトデータの分析※</li> <li>▶ インパクトレポートの作成※</li> </ul> <p>※ミダス財団が、2024年5月以降に実施・検討する内容</p>

体制・役割分担	
<p>ミダス財団</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校設立事業の説明と関連資料の作成</li> <li>▶ ディスカッションへの参加</li> <li>▶ その他関連資料の共有</li> <li>▶ 指標データの収集方法検討</li> <li>▶ 指標データの収集</li> </ul>
<p>MRI</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 社会課題整理・TOC・ステークホルダー提供価値整理</li> <li>▶ ロジックモデル案策定</li> <li>▶ 指標の検討</li> <li>▶ 指標データの収集方法検討</li> </ul>

# 全体スケジュール

- プロジェクトスケジュールは以下の通り。

		2月	3月	4月	5月
	<b>Step1.</b> 事業スコープの決定、 社会課題、ステークホルダー提供価値				
	<b>Step2.</b> TOC、ロジックモデル策定				
	<b>Step3.</b> インパクト指標設定・インパクト指標データの検討				
	<b>Step4.</b> レポート作成				

# プロジェクトサマリー

---

# エクゼクティブサマリー

- ミダス財団では、コロナ以前から学校建設に取り組み、これまでに3校の小学校をベトナムに建設（現在申請しているのが2校）。学校建設後も周辺地域での井戸の建設や、バッグ、防寒着の寄付など支援を継続している。
- 当該プロジェクトでは、ベトナム北部のHa Giang省に2022年に建設したTham Luong分校を対象に、小学校設立事業が創出するインパクトを整理した。また、インパクト測定評価（IMM）の以下の項目を実施：
  1. 対象事業の詳細とミダス財団の取組の狙いの整理
  2. ベトナムおよびHa Giang省での初等教育に関する社会課題の調査
  3. Tham Luong分校設立事業に関わるステークホルダーへの提供価値の整理
  4. セオリーオブチェンジを通じて創出したい社会変革とその打ち手を可視化
  5. 創出したいインパクトのため必要なアウトカムを時間軸で整理
  6. アウトカム測定のための指標の設定および測定すべきデータの整理
- 5月以降ミダス財団がデータを収集・分析をすることにより、予定していたインパクトが創出されているのかを確認し得た示唆により、Tham Luong分校の運営見直しや、今後の小学校設立プロジェクト計画への反映が期待される。

# IMMの対象小学校設立事業

## ● ミダス財団の小学校設立事業

- コロナ前から学校建設に取り組み、これまでに3校の小学校をベトナムに建設（現在申請しているのが2校）。学校建設後も周辺地域での井戸の建設や、バッグ、防寒着の寄付など支援を継続
- 2024年はベトナムでの追加の学校建設に加え、ブータン（孤児院を建設中、障害児のための学校のリノベーションも検討中）やカンボジア（1校建設中）での学校建設も開始し、さらなる拡大を目指す

## IMM対象事業：Tham Luong分校（ベトナム）

- ベトナム北部のHa Giang省にある学校で2022年に建設
- 生徒数は300名程度でミダス財団の学校の中では最大規模
- 教室は8室、教員室は2室あり、遊び場兼読書エリアである屋根付き廊下も設け、お手洗日も2箇所設置



出所)ミダス財団提供資料



# 対象事業の社会課題サマリー

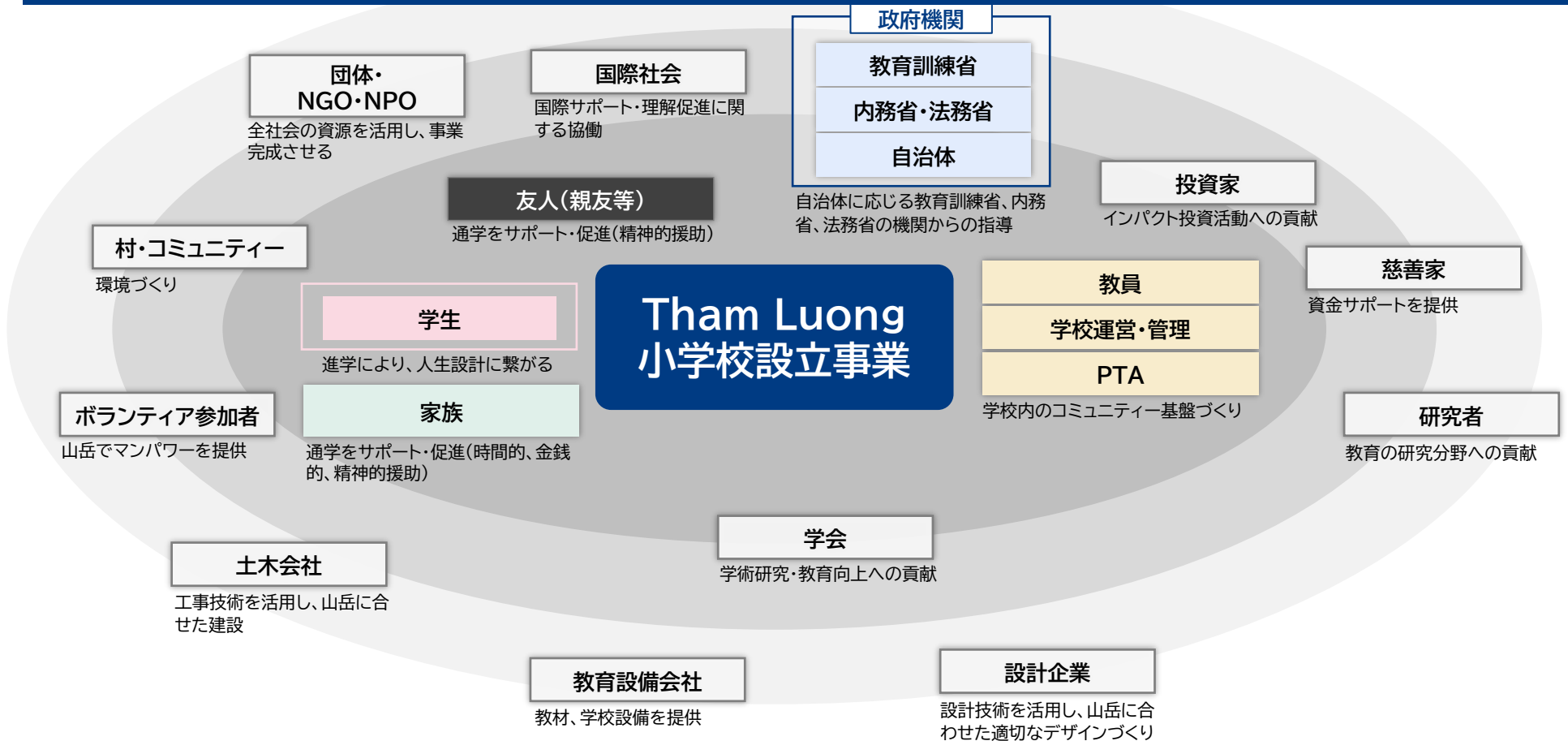
- ベトナムおよびプロジェクト実施地区での初等教育に関わる社会課題を以下の通りまとめた。

<p>地方部での初等学校の現状</p>	<p>教育費: 公立小学校でも教科書代は有料で設備費を集めている学校も多い。そのため、特に農村部の経済的に厳しい家庭の子どもが就学機会に恵まれないことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ アクセス: 山間部では学校までの距離が徒歩で2、3時間というところも珍しくない。</li> <li>▶ 言語: 山間部地域は少数民族の村が多く日常生活で使う言語は民族によって異なる。</li> <li>▶ 教師: 地域により、教員の学歴構成などに格差があり、また十分な人員が確保できていない</li> <li>▶ 教育施設・設備の安全面: 地方ではレンガでの建築など、防寒対策が不十分な建屋がある</li> <li>▶ 教育時間: 午前午後の二部制となっており年間660時間にとどまる(国際標準は1,000時間)</li> </ul>
<p>その現状の原因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農村部や貧困家庭において、子供の就学よりも就労を重視する傾向が残っている</li> <li>▶ 少数民族(Tham Luongだとモン族)の女子は早期(10代)に結婚する傾向が強い</li> <li>▶ 少数民族の生徒はベトナム語に対して言語の壁があり、教員のモチベーション維持も課題</li> </ul>
<p>経済的影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Tham Luong が位置するHa Giang省Yên Minh県の貧困率 31.83%(2020年)で1人あたり平均年収: 22milVND (約135,000円)</li> <li>▶ 小学校卒業: 非正規労働(最低賃金: 約20,000VND/時間 8時間労働、24日勤務 3.84milVND、年収46milVND) =&gt; 一人当たり年収差額 24milVND</li> <li>▶ 中学校卒業・高等学校卒業: ワーカー(正規労働、平均月収: 5milVND以上、年収60milVND); 山岳地域において、公務員、オフィスワーク等 =&gt; 一人当たり年収差額 38milVND</li> <li>▶ <u>ベトナムにおいては、学業と仕事・年収などの相関関係はあまり強くない。ただし、最終学歴によって職業の選択肢が大きく変わる。</u></li> </ul>

# 小学校設立事業に関わるステークホルダー

- Tham Lung小学校設立事業のステークホルダーを以下の通り整理した。

## 小学校設立事業に関わるステークホルダーとその役割



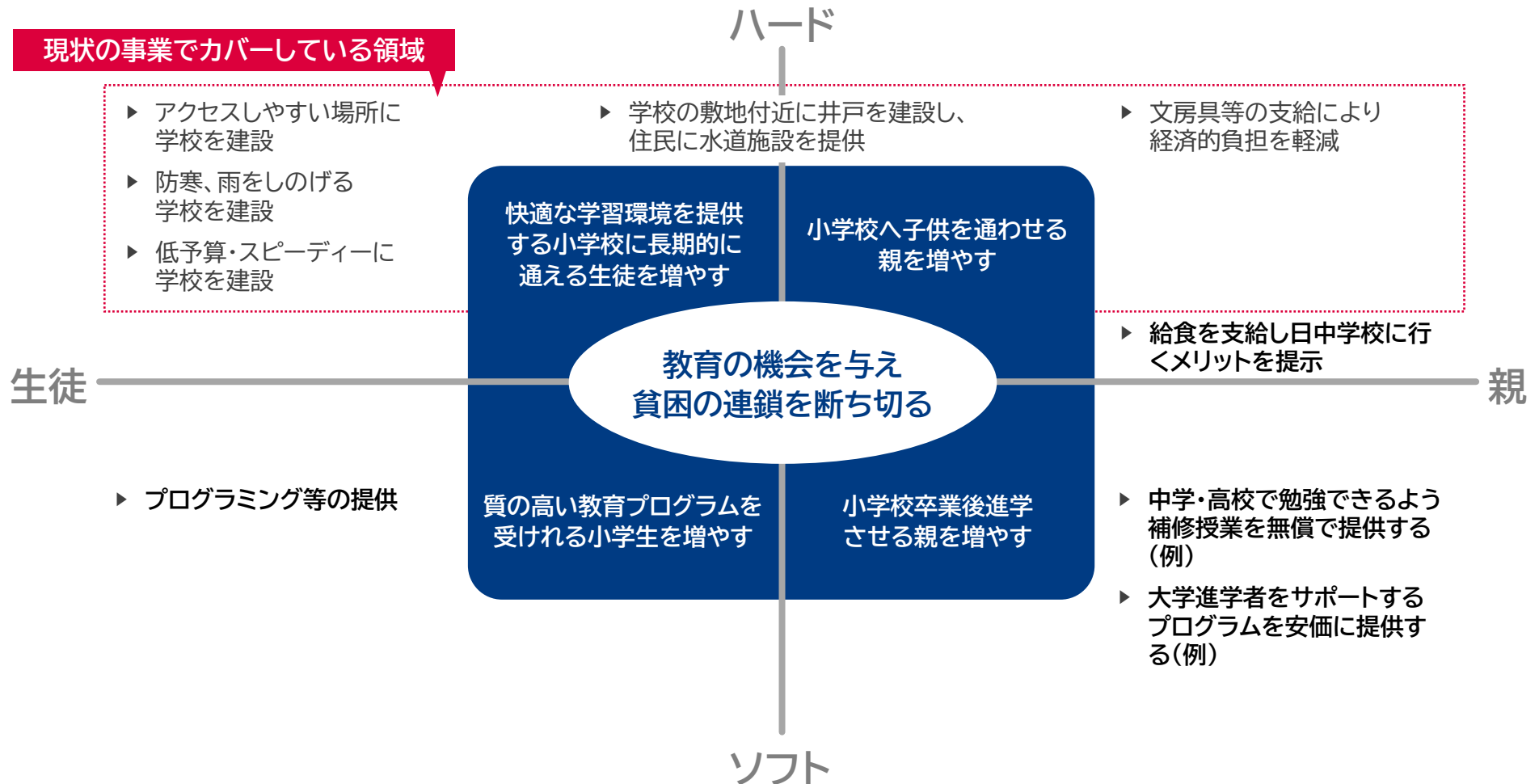
# 小学校設立事業のステークホルダーへの提供価値

- 当該事業を通じてステークホルダーに提供できる価値は以下の通り：

生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校に行くことにより、将来の人生・キャリア形成、貧困から脱出することが可能</li> <li>▶ 友人や先生と出会う機会が得られる</li> </ul>
家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 初等教育の重要性を理解できるようになる</li> <li>▶ 子供の教育レベルが向上することにより、親と社会とのコミュニケーションをサポートできるようになる</li> </ul>
教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ファシリティーが充実した学校で就業の機会を得ることができる</li> <li>▶ 学習環境が整った教室で教鞭をとることが出来る</li> </ul>
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コミュニティーにおける学校設立が推進される</li> <li>▶ 教育を通じコミュニティの人材が育成され、貧困脱出やコミュニティの発展に繋がる</li> </ul>
民間企業 (設計・土木・教育設備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校インフラづくりの発注を受けられる</li> <li>▶ 山岳で学校建設は通常の学校設立よりも技術的にハードなため、知見が溜まる</li> </ul>
NGO・NPO (慈善家・投資家等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育課題に取り組むNGO・NPOとの協働が可能</li> <li>▶ 都市部と農村部の教育格差問題の解決が促進される</li> </ul>
政府関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 政府・自治体での対応が困難な地域での学校設立事業が推進される</li> <li>▶ 学校設立資金提供が受けられる</li> </ul>

# セオリーオブチェンジ(ToC:Theory of Change)

- 小学校設立事業を通じて起こしたい社会変革に必要な社会環境とそれを生み出すための方策を整理した。



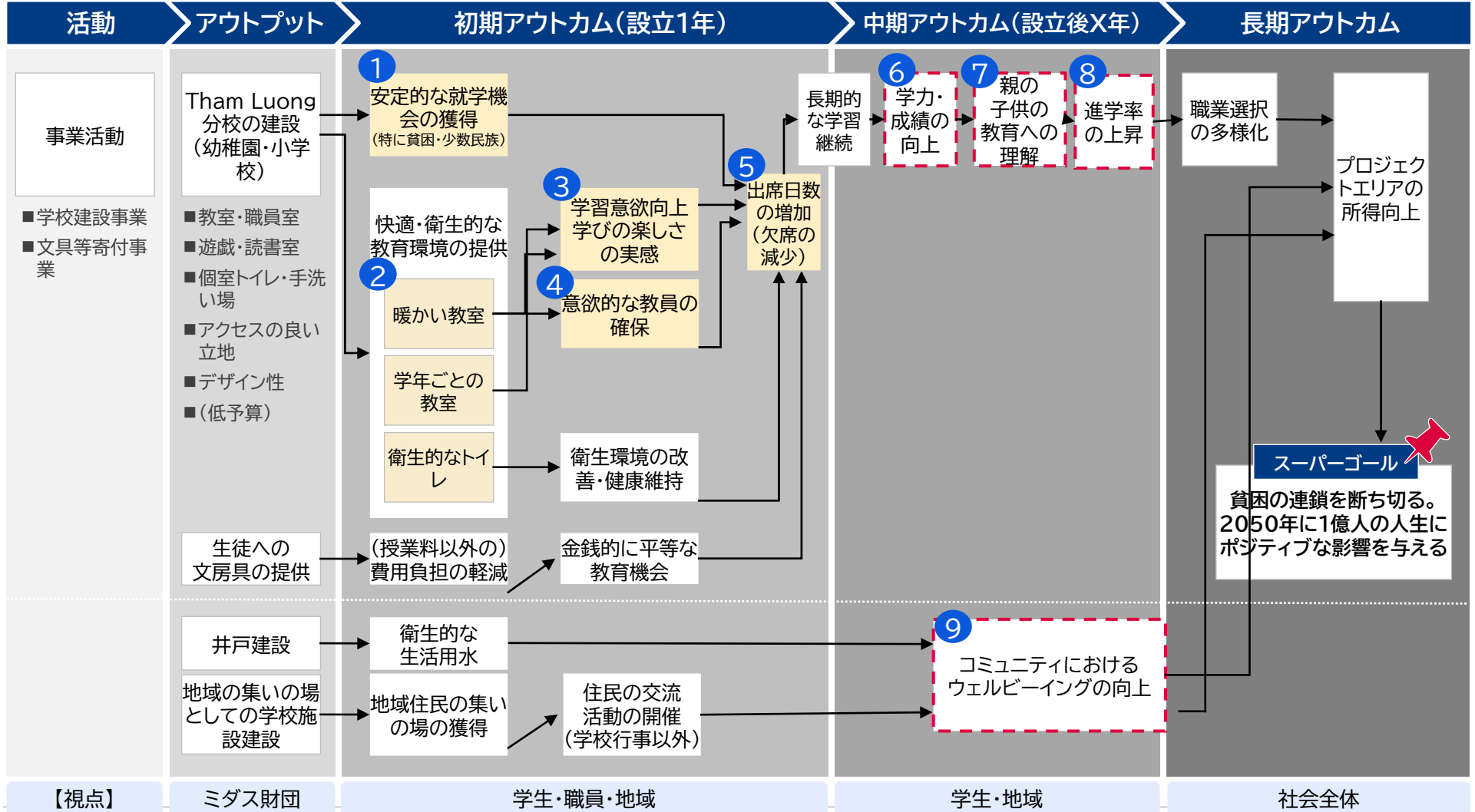
# ロジックモデル

黄色が重要なインパクトパスを示す

赤い囲いのあるアウトカムに指標を設定する

点線は将来データを収集する想定

- ロジックモデルを使って、創出したいインパクトのため必要なアウトカムを時間軸で整理した



# 初期アウトカム指標

● ロジックモデルで選定した重要なアウトカムに対する指標を以下の通り設定した。

## ・ アウトカム(1): 安定的な就学機会の獲得(特に貧困・少数民族)

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
生徒数	定量	全生徒数	▶ 全生徒数	▶ 学校運営側の保有情報から入手 ▶ 校長先生から入手予定
	定量	男女割合	▶ 全生徒の内、女子比率	
	定量	少数民族割合	▶ 全生徒の内、少数民族世帯に属する者の割合	
	定量	貧困世帯割合	▶ 全生徒の内、貧困世帯に属する者の割合	
通学時間	定量	—	▶ 以前の学校と今の学校の通学時間を比較すると通学時間は減少しましたか？	▶ タムロン分校開校以前に別の学校に通っていた子供・保護者 ▶ 先生が生徒・保護者にインタビューしてくださる予定

## ・ アウトカム(2): 快適・衛生的な教育環境の提供

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
教室数	定量	防寒対策のされた教室	▶ 防寒対策がなされた教室の数	▶ 学校運営側の保有情報から入手 ▶ 校長先生から入手予定
	定量	学年ごとの教室	▶ 学年ごとに分かれて勉強できる教室の数	
トイレ	定量	衛生的なトイレ	▶ 水洗トイレの数 ▶ 手洗いのついたトイレの数	

# 初期アウトカム指標

## ・アウトカム(3):学習意欲向上学びの楽しさの実感

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
学習意欲の向上	定量	安心して学べる環境	▶ 以前と比べて現在の学校では落ち着いて学習している(あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない)	▶ 生徒へのインタビュー ▶ 先生が生徒にインタビュー・アンケート実施する予定
	定量	自発学習	▶ 以前と比べて自分から勉強に取り組んでいる(あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない)	▶ 生徒へのインタビュー ▶ 先生が生徒にインタビュー・アンケート実施する予定
学びの楽しさ	定量	楽しさ	▶ 以前と比べて色々なことを学ぶことは楽しい(あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない)	▶ 生徒へのインタビュー ▶ 先生が生徒にインタビュー・アンケート実施する予定

※筑波大学大学院の櫻井茂男教授の研究によって得られた尺度により設定

## ・アウトカム(4):意欲的な教員の確保

出所)栃木県総合教育センター、  
<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/ichiran.htm#enquete>、  
 (閲覧日:2024年3月22日)

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
教員の意識	定量	仕事や職場での満足感	▶ 以前と比べて今の仕事にやりがいを感じている(あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない) ▶ 以前と比べて今の学校で仕事をする事ができてよかったと思う(あてはまる、ややあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない)	▶ 職員へのインタビュー ▶ 先生がアンケートに答える予定

出所)文部科学省、教員意識調査、[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyuyo/07061801/002.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyuyo/07061801/002.pdf)、  
 (閲覧日:2024年3月22日)

# 初期アウトカム指標

## ・ アウトカム(5):出席日数の増加(欠席の減少)

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
欠席日数	定量	欠席日数(病気)	▶ 登校日の内、病欠の日数(←衛生的な環境提供の効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校運営側の保有情報から入手</li> <li>▶ なお、学校が欠席日数や理由について詳細に把握していない・また関連情報の共有が困難な場合は、欠席日数に関する定量的データではなく、教員への定性的なアンケートの実施も考えられる(質問例:生徒の病気・不登校による欠席日数が減ったと思いますか?等)</li> <li>▶ <b>校長先生から学校の記録データを入手する予定。ただし、欠席理由についてどの程度のデータを提供できるかは要確認</b></li> </ul>
	定量	欠席日数(悪天候等)	▶ 登校日の内、悪天候等で通学が困難であることが理由で欠席した日数(←学校のアクセス性の良さの効果)	
	定量	欠席日数(不登校)	▶ 登校日の内、心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況による欠席の日数(←学習意欲向上・学びの楽しさの実感の提供の効果)	
	定量	欠席日数(家業手伝い)	▶ 農家家庭における収穫での繁忙期など、家の手伝いの必要による欠席の日数	
経済的理由による長期欠席者数	定量	家計	▶ 家計が苦しく教育費が出せない、児童生徒が働いて家計を助けなければならない等の理由で長期欠席した者の数(←文房具の提供の効果)	

出所)文部科学省、令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 長期欠席の調査方法について  
[01 R2問題行動等調査 長期欠席の調査方法について \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)  
 (閲覧日:2024年3月22日)



# 中期アウトカム指標

## ・アウトカム(6): 学力・成績の向上

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
各科目の 総合点数	定量	全科目	▶ 全科目の成績表	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校運営側の保有情報から入手</li> <li>▶ 教員に対するインタビュー</li> <li>▶ 校長先生からデータを入手し、先生がアンケートに回答する予定</li> </ul>
		国語(ベトナム語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国語で聴解・読解・会話・作文についての成績表</li> <li>▶ 生徒のベトナム語でのコミュニケーション力は向上しているか?(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	
		算数	▶ 算数科目の成績表	

出所) Regulations on assessment of primary school student Circular No. 27/2020/TT-BGDĐT [Thông tư 27/2020/TT-BGDĐT quy định đánh giá học sinh tiểu học mới nhất \(thuvienphapluat.vn\)](#) (閲覧日: 2024年3月22日)

# 中期アウトカム指標

## ・アウトカム(7):親の子供の教育への理解

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
子供の教育の重要性	定量	通学について	▶ 子供を学校に通わせたいと思いますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 保護者に対するインタビュー</li> <li>▶ 先生が生徒の自宅に伺ってまたは保護者会でインタビューを実施する予定</li> <li>▶ 言語の問題から、紙のアンケートは実施できない可能性が高い</li> <li>▶ 200人の生徒の保護者にインタビューするのは困難なため、定量質問(通学について)に絞っても良い。また、定性データは、人数を絞って入手しストーリー的に開示することも一案</li> </ul>
	定性	通学について	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 子供の通学に対し、どういった期待がありますか？</li> <li>▶ 子供の通学により、成長したことは何でしょうか？</li> </ul>	
		進学について	▶ 今後、子供をいつまで進学させるつもりですか？(中学、高校、大学、専門学校、その他)	

## ・アウトカム(8):進学率の上昇

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
進学率	定量	進学率	▶ 中学校の進学率(周辺学校との比較を想定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校運営側の保有情報から入手</li> <li>▶ 校長先生から入手予定</li> </ul>
		女性学生の進学率	▶ 女性学生の進学率(周辺学校との比較を想定)	
		留年する児童数	▶ 学級に応じて留年した児童の割合(周辺学校との比較を想定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校運営側の保有情報から入手</li> <li>▶ 校長先生から入手予定</li> </ul>
		退学する児童数	▶ 学級に退学した児童の割合(周辺学校との比較を想定)	

出所) UNISEF、Báo cáo Tóm tắt Giáo dục Việt Nam I Năm 2022、Topic 5 (Viet Nam MICS-EAGLE factsheet 2022, UNICEF) (閲覧日:2024年3月22日)

# 中期アウトカム指標

## ・アウトカム(9):コミュニティにおけるウェルビーイング

指標	タイプ	サブカテゴリー	具体的な情報(質問)	情報入手方法・質問対象者
ウェルビーイング	定量	つながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 他者や社会とのつながりを通して、自身の存在意義を実感することは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、他者や社会とのつながりを通して、自身の存在意義を実感できていますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 生徒の保護者・コミュニティに住む住民へのインタビュー</li> <li>▶ 村長にインタビュー・アンケートを目的とした集まりを企画していただけるか打診予定</li> <li>▶ 1月の集会でインタビュー・アンケートを実施することも検討する</li> </ul>
		自己実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 仕事や社会的活動を通じて、誰かの役に立っていることを実感することは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、仕事や社会的活動を通じて、誰かの役に立っているという実感がもてていますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	
		安全強靱	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 悩みごとがあったとき、相談に乗ってもらえる人がいることは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、悩みごとがあったとき、相談に乗ってもらえる人がいますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	
		多様性・包摂	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 誰もが基本インフラ(電気・水道・交通・郵便など)を利用できることは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、誰もが基本インフラ(電気・水道・交通・郵便など)を利用できますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	
		多様性・包摂	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育機会や教育水準に過度な格差が生じていないことは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、教育機会や教育水準に過度な格差が生じていないと思いますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	
		次世代への継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域や国の歴史・文化が尊重され継承されていることは重要ですか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> <li>▶ 学校設立前と比べて学校設立後は、地域や国の歴史・文化が尊重され継承されていると思いますか？(そう思う、ややそう思う、あまり思わない、思わない)</li> </ul>	

出所)MRI、ポストコロナ社会のウェルビーイング、<https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/policy/20220309.html> (閲覧日:2024年3月15日)

# 中期アウトカム指標

- アウトカム(9):コミュニティにおけるウェルビーイング指標のデータを収集する際は、以下のデモグラフィックデータも収集することを検討する:
  - 年齢
  - 性別
  - 配偶者の有無、回答者の婚姻状況(回答者が死別、離婚、別居しているかどうかを含む)
  - 家族形態:独身かパートナーと同居しているか、子供の有無などを含む
  - 子供:回答者の世帯の子供の数と年齢、および回答者との関係
  - 世帯構成:回答者の世帯の人数
  - 地理情報: プライバシー上の懸念により、詳細な情報の非公開可能性があるが、地理情報は都市部と農村部、首都と地方などに分類
  - 民族識別:回答者の民族的アイデンティティなど
  - 言語:回答者の第一言語。その国の標準語が望ましい場合もある
  - 収入:個人収入よりも世帯収入の方が重要であり、生活水準と消費を左右する。可能であれば、税込と税抜の個人収入と世帯収入、その世帯構造、収入源の分類(給料、投資、政府の補助金等)の情報を合わせて集計した方が望ましい
  - 雇用状況:職業に対する満足度がウェルビーイング指標と相関する
  - 健康状態:身体的健康と精神的健康(メンタル健康)の両方が、ウェルビーイング指標と相関する

# 中期アウトカム「コミュニティにおけるウェルビーイング向上」について

## 【MRI版ウェルビーイング指標】

- 赤丸の6つの質問について、その重要性・現在のステータス・将来(5年後)の見込みの3観点から質問する。
- 回答は5段階で回答いただくことを想定(具体的な方法については、P73～76を参照のこと)

### 【付録A】MRI版ウェルビーイング指標の全体構造

MRI版ウェルビーイングの構成9要素(A～I)、21項目(A-1～I-1)、36指標(A-1-1～I-1-3)は以下のとおり。

【A.生活の自立】	A-1 心身ともに健康的に生活できていること
	A-1-1 適切な運動や食生活を通して、身体的に健康的な生活ができていること
	A-1-2 過度なストレスがなく、精神的に健康的な生活ができていること
	A-2 生活の自立に必要な所得や資産を有していること
【B.つながり】 ●	B-1 仕事・学校・家事・睡眠以外に、自分で自由に使える時間が確保されていること
	B-1 他者や社会とのつながりを通して、自身の存在意義を実感できていること
【C.自己実現】 ●	B-2 家族や友人、職場の上司・同僚と相互に承認しあっていること
	C-1 仕事や学び、趣味などを通じて、なりたい自分の実現に向かって取り組んでいること
【D.将来への希望】 ●	C-2 仕事や社会的活動を通じて、誰かの役に立っているという実感がもてること
	D-1 人生や社会に対して期待があり、自分の将来に希望を持っていること
【E.安全・強靱】 ●	E-1 テロや犯罪の発生が抑えられ、甚大災害から守られていること
	E-1-1 テロや犯罪の発生が抑えられ、安心して生活できること
	E-1-2 地震や津波、集中豪雨などによる自然災害に対して十分な対策が講じられていること
	E-2 経済危機や自然災害などのショック発生時に経済的に困窮しないこと
	E-3 危機に陥った人に対して公的なサポートが行き届いていること
	E-3-1 病気や怪我をしたとき、必要な医療サービスを受けられること
	E-3-2 日常生活が困難になった時、必要な介護・福祉サービスを受けられること
	E-3-3 何らかの理由で働けなくなった場合でも、最低限の生活を維持できること
	E-4 困ったときに頼れる人がいること
	E-4-1 悩みごとがあったとき、相談に乗ってもらえる人がいること
E-4-2 病気や怪我で日常生活が困難になったとき、手助けしてもらえる人がいること	
【F.多様性・包摂】 ●	F-1 誰もが基本的な生活インフラや情報通信サービスを利用できること
	F-1-1 誰もが基本インフラ(電気・水道・交通・郵便など)を利用できること
	F-1-2 誰もが情報通信機器や情報通信サービスを利用できること
	F-2 日々の生活において不当な制約を受けず自由に選択ができていること
	F-2-1 思想信条や言論、居住、移転などを不当な制約を受けず選択できていること
	F-2-2 仕事の内容や働き方を不当な制約を受けず選択できていること
	F-3 所得、健康状態、教育水準に過度な格差が生じていないこと
	F-3-1 所得や資産に過度な格差が生じていないこと
F-3-2 心身の健康状態に過度な格差が生じていないこと	
F-3-3 教育機会や教育水準に過度な格差が生じていないこと	

【G.次世代への継承】 ●	G-2 地域や国の歴史・文化・芸術が育まれ継承される環境が整備されていること
	G-2-1 地域や国の歴史・文化が尊重され継承されていること
	G-2-2 新しい芸術・文化が生まれ続けていること
	G-3 地域や国の財政が持続可能であること
【H.進歩・挑戦】 ●	H-1 社会に挑戦の土壌があり、失敗へのセーフティネットがあること
	H-1-1 事業や進学、スポーツ等に挑戦する者を応援する土壌があること
	H-1-2 失敗しても再挑戦できるような仕組みが整っていること
	H-2 社会のニーズに合わせて新たな産業が生まれていること
	H-2-1 企業が魅力的な製品やサービスを生み出していること
	H-2-2 将来有望な企業が新たに立ち上がっていること
H-3 生涯を通じて人が学び、能力が活かされる環境が整備されていること	H-3-1 生涯を通じて、社会ニーズにマッチした知識・技能を学ぶ機会が提供されていること
	H-3-2 どんな人でも、その能力が活かされる環境が整備されていること
【I.地球環境の保全】 ●	I-1 気候変動対策、資源の有効利用を含め、自然環境が持続可能であること
	I-1-1 地球温暖化・気候変動のための対策が取られていること
	I-1-2 森林、河川、大気などの自然環境が保全されていること
	I-1-3 リサイクルやリユースなど資源の有効利用、廃棄物対策が行われていること

※総合満足度について質問し、どの質問項目がスタンダードかトップラインかを分析するアプローチもあるが、最初の数年は、各項目の重要性を分析することで、質問項目のカテゴリー分けを行うことを推奨。

# ミダス財団小学校設立事業について

---

- IMMの対象となる小学校設立事業の詳細  
(ミダス財団作成資料より)

# ミダス財団事業概要

ビジョン	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ミダスキャピタルの収益の一部を恒久的に財団に投下し、本質的・サステイナブルな社会貢献事業を行って、世界中の根本課題を解決していく</li><li>▶ 世界中から貧困の連鎖を断ち切る。2027年に1万人、2035年に100万人、2050年に1億人の人生にポジティブな影響を与える</li></ul>
スキーム	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ ミダスキャピタルの収益の10%及び代表理事である吉村英毅からの1億円/年の寄付を財源とし、可能性のある企業、団体及び機関に寄付を行う</li></ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 日本と発展途上国双方の、若年層に対する教育、生活支援</li><li>▶ 貧困、環境等の社会問題の解決に取り組んでいる団体に対する支援</li></ul>

# ミダス財団小学校設立事業概要

- 東南アジアでの小学校の建て替え及び継続的な教育支援
  - コロナ前から学校建設に取り組み、これまでに3校の小学校をベトナムに建設（現在申請しているのが2校）。学校建設後も周辺地域での井戸の建設や、バッグ、防寒着の寄付など支援を継続
  - 2024年はベトナムでの追加の学校建設に加え、ブータン（孤児院を建設中、障害児のための学校のリノベーションも検討中）やカンボジア（1校建設中）での学校建設も開始し、さらなる拡大を目指す

## 建設した学校の様子





# ミダス財団が考えるベトナム初等教育の課題とその打ち手

## 学校に通えていない子供たち

- 学校が遠すぎて毎日通えない → 地域の中核に学校施設を建設
- 日中に働かされている子もいる → 給食の提供で学校に通わせたい(給食の提供は現在検討中)

## 学校の環境が学習の場として適していない

- 木と土でできている → 既存の学校を建て替える支援
- 風や雨が入り込む
- かろうじて屋根はある
- 山奥で非常に寒冷(10度以下)
- トイレや水回り設備が不十分・不衛生

## 貧困地域のインフラが不十分

- 衛生的な水が足りない → 井戸を建設(6つ建設済み)
- 勉強道具や日用品も不足 → 学用品、防寒着の寄付などを実施済(2022年開始)

# ミダス財団小学校設立事業のターゲット

- まずは小中学生をターゲットにしている(高校生より優先している)
- 1000㎡規模の土地をベトナム政府から借り、700万円程度で学校建設するのが標準的(世界銀行の10分の1のコストで学校を建てている。資金効率の良さに特徴がある)
- 地域の中核的な場所に学校を建てることで生徒数は20～30%ほど増加する
- 快適な環境(涼しい・暖かい)で勉強できるようにする
- (財団全体で)2025年に1万人、2030年に100万人、2040年に1億人の人生にポジティブな影響を与える

## Tham Luong分校(ベトナム)

- ベトナム北部のHa Giang省にある学校で2022年に建設
- 生徒数は300名程度でミダス財団の学校の中では最大規模
- 教室は8室、教員室は2室あり、遊び場兼読書エリアである屋根付き廊下も設け、お手洗いや2箇所設置



# 対象プロジェクトに関する社会課題の整理

---

- ベトナムと対象地域における小学校にまつわる社会課題の整理

# 対象事業の社会課題サマリー

- バトナムおよびプロジェクト実施地区での初等教育に関わる社会課題を以下の通りまとめた：

<p>地方部での初等学校の現状</p>	<p>教育費：公立小学校でも教科書代は有料で設備費を集めている学校も多い。そのため、特に農村部の経済的に厳しい家庭の子どもが就学機会に恵まれないことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ アクセス：山間部では学校までの距離が徒歩で2、3時間というところも珍しくない。</li> <li>▶ 言語：山間部地域は少数民族の村が多く日常生活で使う言語は民族によって異なる。</li> <li>▶ 教師：バトナムにおいては、地域により教員の学歴構成などに格差があり、また十分な人員が確保できていない</li> <li>▶ 教育施設・設備の安全面：地方ではレンガでの建築など、防寒対策が不十分な建屋がある</li> <li>▶ 教育時間：午前午後の二部制となっており年間660時間にとどまる（国際標準は1,000時間）</li> </ul>
<p>その現状の原因</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農村部や貧困家庭において、子供の就学よりも就労を重視する傾向が残っている</li> <li>▶ 少数民族(Tham Luongだとモン族)の女子は早期(10代)に結婚する傾向が強い</li> <li>▶ 少数民族の生徒はバトナム語に対して言語の壁があり、教員のモチベーション維持も課題</li> </ul>
<p>経済的影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Tham Luong が位置するHa Giang省Yên Minh県の貧困率 31.83%(2020年)で1人あたり平均年収：22milVND (約135,000円)</li> <li>▶ 小学校卒業：非正規労働(最低賃金：約20,000VND/時間 8時間労働、24日勤務 3.84milVND、年収46milVND) =&gt;一人当たり年収差額 24milVND</li> <li>▶ 中学校卒業・高等学校卒業：ワーカー(正規労働、平均月収：5milVND以上、年収60milVND)；山岳地域において、公務員、オフィスワーク等=&gt;一人当たり年収差額 38milVND</li> <li>▶ <u>バトナムにおいては、学業と仕事・年収などの相関関係はあまり強くない。ただし、最終学歴によって職業の選択肢が大きく変わる。</u></li> </ul>

# (参考)Tham Luong及びその地域に関するデータ

## Tham Luongの位置する省・県における貧困率、少数民族の率のデータ

- Ha Giang省の貧困率 49.96%(2022年)、貧困世帯数 94,727世帯
- Yên Minh県の人口:102,101人(2022年)  
【民族の割合】  
モン族:59.26%, ザオ族:14.6%, タイ族:12.6%, ヌン族:4.57%,  
ザイ族:6.19%, キン族:3.52%
- Yên Minh県の貧困世帯数: 10,369世帯 貧困率 53.7%
- 1人あたり平均年収:22milVND (約135,000円)
- 2021年、YenMinh県が全国の貧困街リスト(74か所)に入った(政府決定353/QĐ-TTg)
- 貧困地区の判断基準は以下の4つ:
  - a. 2022年から2025年の期間における多次元貧困線による貧困世帯と貧困に近い世帯の割合。
  - b. 地区内の群のような行政単位の社会経済開発レベル
  - c. 地区の一人当たりの収入
  - d. 山岳地帯、高地、国境地帯、または残りの地域の地区

出所) BaoHaGiang General Statistic Organization, Năm 2022, tỉ lệ hộ nghèo đa chiều giảm 5,17%, <https://baohagiang.vn/kinh-te/202212/nam-2022-ti-le-ho-ngheo-da-chieu-giam-517-3ac7757/>  
Hagiang省、Yên Minh biểu dương người có uy tín trong đồng bào dân tộc thiểu số, <https://tuyengiao.hagiang.gov.vn/tin-tuc/tin-tuc-su-kien-noi-bat/yen-minh-bieu-duong-nguoi-co-uy-tin-trong-dong-bao-dan-toc-thieu-so.html> (閲覧日: 2024年2月19日)

## (参考)最終教育と仕事機会・年収関係

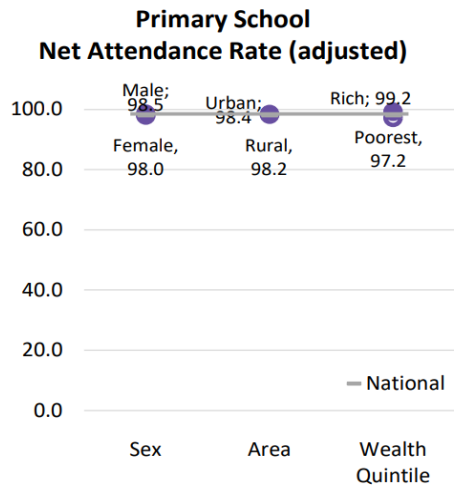
### ベトナムにおける大学卒・高校卒・中学卒・小学校卒の生涯年収

- 世界各国の教育の所得向上効果を調べた研究によると、教育に対する投資効果は初等教育が最も高く、中等教育、高等教育となるにつれ、その効果は減少する。特に所得水準の低い国においては、教育への公的投資の効果が高い
- ベトナムにおいては、最終教育や資格に対する仕事への影響がまだ強くなく、学業と仕事と年収などの相関関係があまり強くないが、最終学歴で選択肢が大きく変わってくる
- ベトナムの参考年収
  - 小学校卒業：非正規労働（最低賃金：約20,000VND/時間 8時間労働、24日勤務 3.8milVND）
  - 中学校卒業：ワーカー（正規労働、平均月収：5milVND以上）；山岳地域において、公務員等
  - 高等学校卒業：ワーカー（正規労働、平均月収：5milVND以上）、オフィスワーク（正規と非正規、平均月収：5milVND以上）、公務員等
  - 大学卒業：ワーカー（正規労働、平均月収：5milVND以上）、オフィスワーク（正規と非正規、平均月収：5milVND以上）、公務員、大学の職員等

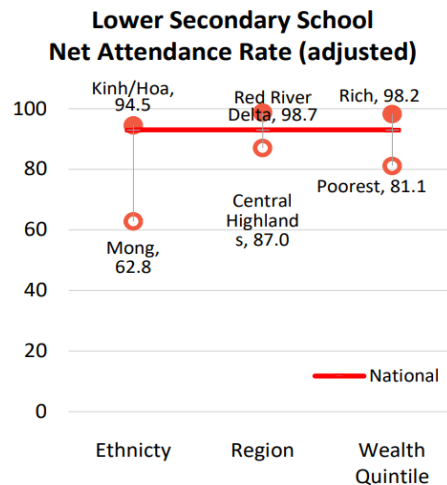
出所)Hoi Dap Phap Luat, Tôt nghiệp cấp 3 có được làm công chức Tư pháp - hộ tịch không?, <https://thuvienphapluat.vn/hoi-dap-phap-luat/58F86-hd-tot-nghiep-cap-3-co-duoc-lam-cong-chuc-tu-phap-ho-tich-hay-khong.html>（閲覧日：2024年2月19日）

## (参考)ベトナムの小・中・高の就学率と性別、地域、所得、民族の関係性

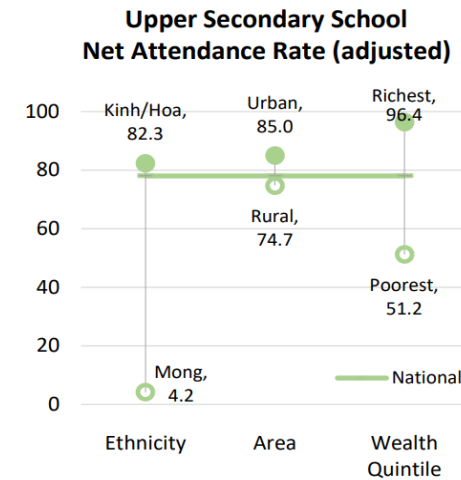
- 小学校の就学率に関して、男女、都市・農村、富裕世帯・貧困世帯の間の格差が少ない
- 中学校の就学率に関して、キン/華族・モン族、レッドリバーデルタ・中部高原、富裕世帯・貧困世帯の間の差が開いていく
- 高等学校の就学率に関して、キン/華族就学率が82.3%に対して、モン族が4.2%にしか至らない。同時に、高等学校の就学に関して、富裕世帯・貧困世帯の差も非常に大きい。



Percentage of children of primary school age (as of beginning of school year) who are attending primary, lower or upper secondary school



Percentage of children of lower secondary school age (as of beginning of school year) who are attending lower secondary school or higher



Percentage of children of upper secondary school age (as of beginning of school year) who are attending upper secondary school or higher

# 社会課題の整理(PEST分析)

## Politics

- ▶ 2019年教育法第14条第1項において、初等学校を修了することが義務付けられている。
- ▶ 初等学校に関しては、国が強制教育を実施し、義務教育を計画・促進する責任を負う。他方、保護者が子どもに強制教育を修了させ、義務教育を受けさせる義務を負う。
- ▶ 中央運営委員会(Central Steering Committee)が2013年に制定したResolution29では、貧困地域、国境地域、島嶼部、遠隔地、少数民族、奨励政策の受益者に対する教育開発への投資に重点を置く。とされているが、山間部等の少数民族の居住地域での初等学校においては、言語の問題、教師不足、アクセス問題など課題が多数存在する。
- ▶ 憲法により公立小学校は無償とされているが、公立小学校でも制服や教科書等の購入が必要。

## Economy

- ▶ ベトナムの教育分野への公的資金規模は、世界的に中程度(2018年,世界150カ国中80位、政府総支出比では世界144カ国中68位)。
- ▶ 平均所得は上昇傾向にあり、2012-2020年の期間で都市部は約2倍、農村部は約2.4倍。農村部の伸びが大きいものの依然両者には約1.5倍の格差が存在。
- ▶ 初等教育の授業料は無償だが、授業料以外に課外授業や放課後授業、制服や教科書購入費、給食・飲料水代、設備修繕・寄付金等の教育関連費用の支払いが必要。
- ▶ 教育費は所得最下位20%層では月収の約20%を締め、低所得者にとって負担となる。

## Social

- ▶ 共同体意識の醸成や礼儀作法、学業尊重から初等教育に対する期待は一般的に高い。一方で、農村部・少数民族における格差が課題。
- ▶ Yen Minh県の少数民族はモン族が6割を占める。
- ▶ Yen Minh県の農村部では子供の数が多い。多くが農業で生計を立てる。読み書きが可能な割合は全体で59%。35歳以上の世代では学校に行かなかった人が過半数。現在の小学校就学率は農村でも9割を超えており、若い世代の識字率高い。
- ▶ Yen Minh県の農村部における後期中等就学率は低い(16%)
- ▶ Yen Minh県のIT機器所持率はPCが17%、モバイルが75%。
- ▶ 山岳地域では切り立った山に民家が点在しており、児童の足で通うには遠い場合がある。
- ▶ 少数民族における貧困割合は高く、(モン族66%)、授業料のほか、施設費、教科書代等が負担に。施設費が足りず簡素なものが多い。

## Technology

- ▶ 対象外



# ベトナムにおける初等学校

## 【ASAN諸国との比較】

- 社会主義国のベトナムは教育の均等な普及に力を入れている。ユニセフによると、ベトナムの初等教育と中等教育の修了率は、タイやインドネシア、フィリピンといった、ベトナムよりも所得水準が高い周辺国と比べて遜色がない。
- 東南アジア教育大臣機構(SEAMEO)と国連児童基金(UNICEF、ユニセフ)が公表した東南アジア初等教育学力指標(SEA-PLM)2019(参加6カ国:ベトナム、ラオス、ミャンマー、マレーシア、カンボジア、フィリピン)では、読解、筆記、数学の各項目で第1位を取得。

## ASEAN主要国の教育修了率(2012~2018年)(単位:%)

国名	初等教育		前期中等教育		後期中等教育	
	男	女	男	女	男	女
ベトナム	96	97	81	87	50	61
タイ	98	98	76	88	50	62
インドネシア	91	92	64	59	40	37
フィリピン	89	95	75	88	54	66

注：2012~2018年の期間内に入手できた最も新しい年次のデータ。

出所：ユニセフ「世界子供白書2019」から作成

出所)JETRO、【コラム】ベトナム人気は「優秀な人材」との評価に 在ベトナム12年の駐在員の視点から読み解く(前編)、  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/cf3521a82eccbe85.html> (閲覧日:2024年2月15日)

# ベトナムにおける初等学校

## 【教育行政】

- 初等・中等教育機関は、原則教育訓練省の管轄下にあり、学校の実務上の管理・監督は、各地方行政単位の教育訓練局であるが、職業訓練学校など教育訓練省の管轄ではない機関も一部存在する。ほとんどが公立(国立)学校であるが、私立学校もあり、その中には初等・中等一貫校も存在する。

## 【初等学校教育】

- 2019年教育法第14条第1項において、初等学校を修了することが義務付けられている。⇒初等学校は強制教育(2005年教育法では、義務教育は下級中等学校を含む9年間、さらに、2019年教育法により、就学前の5歳児教育を加えた10年間で義務教育となった)
- 初等学校に関しては、国が強制教育を実施し、義務教育を計画・促進する責任を負う。他方、保護者が子どもに強制教育を修了させ、義務教育を受けさせる義務を負う。
- 原則として就学すべき学校は指定されている。就学手続き期間(5月～6月)に、保護者が入園・入学を申し込む。

ベトナムの教育システム			
	保育学校、幼稚園		
義務教育	幼稚園	幼稚園 (5～6歳)	
	初等学校 (強制教育) (小学校)	1年生	(6～7歳)
		2年生	(7～8歳)
		3年生	(8～9歳)
		4年生	(9～10歳)
		5年生	(10～11歳)
	下級中等学校 (中学校)	6年生	(11～12歳)
		7年生	(12～13歳)
		8年生	(13～14歳)
	9年生	(14～15歳)	
	上級中等学校(10～12年生)		
	ジュニア・カレッジ、大学等		

# ベトナムにおける初等学校

## 【教育費用】

- ベトナムでは、憲法により公立小学校は無償とされているが、公立学校でも制服や教科書等の購入が必要。
- 子ども一人当たりの平均教育費は居住地による差が大きい。2020年、都市部の子ども一人当たり教育費は、農村部の約2.2倍。

## 【教育内容】

- 2018年に新カリキュラム(General education curriculum:1~12年生)が発表され、2020年度以降1年生から順次実施されている。
- 学習言語はベトナム語。ただし、ベトナムは54の民族で構成され、人口の約86%はキン族が占める。その他の少数民族は、民族別または民族グループ別に独自の言語を有しており、教育の場では、ベトナム語が用いられるものの、日常生活では固有の言語を使っている場合も多い。
- 第一外国語(英語)と情報技術は、小学校3年生から必修教科。1、2年生は、第一外国語(英語)を選択教科として履修できる。

## 【初等教育における進級状況】

- 初等教育の留年率(全学年 平均)は1%(世界銀行, 2018年)。
- 初等教育最終学年の残存率(※)は96%(世界銀行, 2014年)。(※)初等教育の最初の学年に入学した子どものうち、最終学年に到達した子どもの割合。

### 小学校1年生と5年生の 必修教科と教科別年間授業数(新カリキュラム)

必修教科	1年生	5年生
ベトナム語	420	245
算数	105	175
第一外国語(英語)	—	140
道徳	35	35
自然と社会	70	—
歴史と地理	—	70
理科	—	70
情報技術	—	70
体育	70	70
芸術	70	70
体験活動	105	105

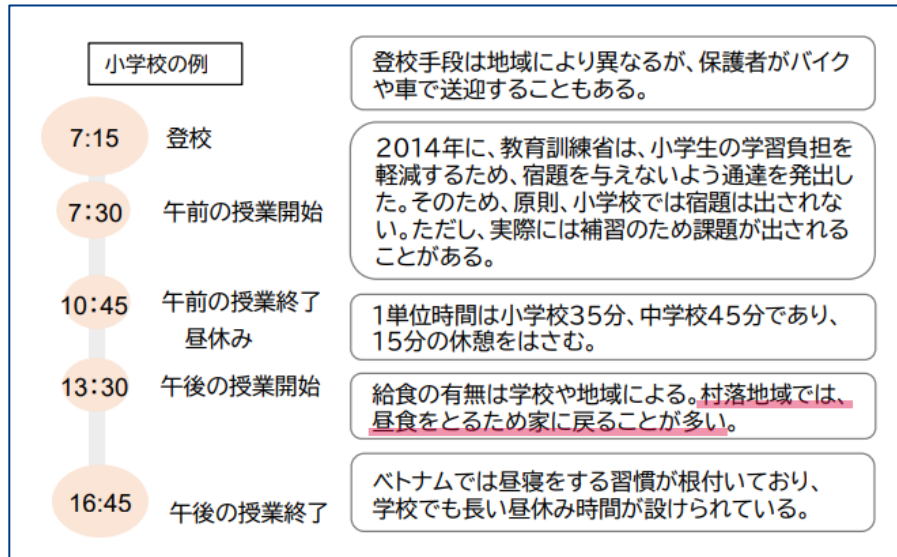
出所)JICA、ベトナムの教育制度 PowerPoint プレゼンテーション、

[https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2023/\\_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/02\\_vietnam.pdf](https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2023/_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/02_vietnam.pdf) (閲覧日:2024年2月15日)

# ベトナムにおける初等学校

## 【1日の流れ】

- 学校や教員の不足等のため、午前と午後で児童生徒が入れ替わる二部制が採用されている学校がある。
- 小学校では、土曜日と日曜日が休みであるが、児童数がクラスの定員を超えている学校では土曜授業を実施し、過密の軽減対策を講じていることがある。



出所) JICA、ベトナムの教育制度 PowerPoint プレゼンテーション、

[https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2023/\\_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/02\\_vietnam.pdf](https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2023/_icsFiles/afieldfile/2024/04/08/02_vietnam.pdf) (閲覧日: 2024年2月15日)

## 【その他】

- 公立の小学校では学費は無償であるが、制服、教科書や副教材、文房具などは 家庭で購入する必要がある。
- 小学校や中学校の教員が、放課後などに学校で補足授業を行う「ホック・テム (Hoc・them)」という慣習がある。ホック・テムの授業料の相場は、集団指導の場合、1回当たり約4万～6万ドン/時間(日本円で約220円～330円)。
- 課外活動も実施されているが、参加は任意。課外活動に参加する場合は 保護者の同意と参加費用の支払いが必要。

## 【保護者の関わり】

- 授業参観の制度はない。
- 保護者面談は各学期に一回行われる。家庭訪問は一律では行われていないが、教員が問題のある児童生徒の家庭を訪問することがある。

## 地方部の初等学校が抱える課題

- **教育支出の格差：**  
ハノイやホーチミン等の都市部の教育費合計は約1,080万VND(約6万600円)であり、農村部の約450万VND(約2万5,000円)と2倍超の開きがある。公立小学校でも教科書代は有料である。また、設備費を集めている学校も多い。そのため、特に農村部の経済的に厳しい家庭の子どもが就学機会に恵まれないことがある。
- **通学時間・アクセス：**  
山間部では教育事情はさらに悪く、学校までの距離が徒歩で2、3時間というところも珍しくない。
- **言語問題：**  
山間部地域は少数民族の村が多く、言語教育も大きな課題である。学校ではベトナム語のみであるが、日常生活で使う言語は民族によって異なる。生徒の理解を阻害、教員自体のモチベーションも低下。
- **教師の質・人員数：**  
地域により、教員の学歴構成などに格差がある。特に地方教員は量的不足も発生している。
- **教育時間の不足：**  
ベトナムでは、小学校が午前と午後の二部制となっており、国際標準の約1,000時間に授業時間(二部制は年間約660時間)に達していない。農村部など貧しい地域の子どもは家計を助けるために働くことが多いことも関係しているかもしれない。
- **教育施設・設備の安全面：**  
地方ではレンガでの建築など、防寒対策が不十分な学校宿舎があると指摘されている。
- **デジタルデバイス・通信環境格差：**  
ハノイ市、ホーチミン市等の主要都市では、2018年の政府方針により5G回線の導入や通信環境の整備、通信アプリ開発が進んだが、一部の山岳地方では、通信環境が未整備の地域がある。

# 地方部の初等学校が抱える課題

## 地方部における初等学校の課題出所一覧

タイトル	出版年	発行者	閲覧日	URL
国別分科会資料 バトナム社会主義共和国(バトナム)	2016年	株式会社三菱総合研究所	2024年2月13日	<a href="https://www.eduport.mext.go.jp/epsite/wp-content/uploads/2021/03/subcommittee-2016-vietnam.pdf">https://www.eduport.mext.go.jp/epsite/wp-content/uploads/2021/03/subcommittee-2016-vietnam.pdf</a>
バトナム教育班最終報告	不明	角銅、下村、ソーニャ、土方、藤本	2024年2月13日	不明
CLAIR REPORT No.540	2023年	自治体国際化協会	2024年2月13日	<a href="https://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/540.pdf">https://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/540.pdf</a>
バトナムの教育事情	不明	青柳文男	2024年2月13日	honbun.indb (u-gakugei.ac.jp)
日本と異なる点も多いバトナムの学校制度	2021年	特定技能ジャーナル	2024年2月13日	<a href="https://www.yourbright.co.jp/blog/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%A8%E7%95%B0%E3%81%AA%E3%82%8B%E7%82%B9%E3%82%82%E5%A4%9A%E3%81%84%E3%83%99%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%81%AE%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E5%88%B6%E5%BA%A6/">https://www.yourbright.co.jp/blog/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%A8%E7%95%B0%E3%81%AA%E3%82%8B%E7%82%B9%E3%82%82%E5%A4%9A%E3%81%84%E3%83%99%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%A0%E3%81%AE%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E5%88%B6%E5%BA%A6/</a>

# 関連法規制・政策関連動向

## 2019年教育法<sup>[1]</sup>

1. 制定年:2019年
2. 管轄省庁:ベトナム国会(The National Assembly)
3. 初等学校に関する概要:
  - 第14条 初等教育は義務とする。
  - 第28条 初等教育の期間は、第1学年から第5学年までの5年間である。第1学年の入学年齢は6歳である。
  - 第29条 初等教育は、生徒が道徳的、知的、身体的、美的能力を発達させ、中等教育への入学に備えるための最初の基礎を形成するのを助けることを目的としている。
  - 第52条 地区レベルの人民委員会の委員長は、小学校の設置などを決定する権限を有する。また、教育訓練大臣は、外国外交代表機関および／または政府間国際機関の提案による、小学校の設立を決定する権限を有する。
  - 第72条 教員は少なくとも教育学の学士を有する。
  - 第99条 公立学校のない地域では、私立教育機関の小学生は、省人民委員会が指定する補助率で、国から授業料の補助を受ける。

## 2018年 General education curriculum<sup>[2]</sup>

1. 制定年:2018年
2. 管轄省庁:ベトナム教育訓練省(Ministry of Education and Training)
3. 初等学校に関する概要:
  - 教科:
    - 第一外国語(英語)と情報技術は、小学校3年生から必修教科である。1、2年生は、第一外国語(英語)を選択教科として履修できる。
    - ベトナム語以外の「民族言語」を選択教科として履修できる。
    - 体験活動は、異なる教科の知識やスキルを統合することで、これまでに得られた体験を新たな知識やスキルに転換し、創造性や生活への適応能力を育むことを目的とした合科的な学習である。
  - 新カリキュラムの特徴:
    - 知識の応用が重視されている。また、様々なコンピテンシー(自主性、協調性、コミュニケーション能力、問題解決能力、創造力など)、及び5つの価値観(①愛国心、②思いやり、③勤勉さ、④誠実さ、⑤責任感)の育成を目指す。

出所)[1]LAWNet、Law No. 43/2019/QH14 EDUCATION LAW、<https://lawnet.vn/en/vb/Law-43-2019-QH14-Education-66A7D.html> (閲覧日:2024年2月16日)  
 [2]JETROベトナム 教育(EdTech)産業調査 [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101\\_r2.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101_r2.pdf) (閲覧日:2024年2月16日)

# 関連法規制・政策関連動向

## Resolution 29<sup>[1]</sup>

1. 制定年: 2013年
2. 管轄省庁: 中央運営委員会 (Central Steering Committee)
3. 初等学校に関する概要:
  - 小学校、中学校のすべての教師、職業教育機関のすべての教師と講師は、少なくとも学士号を有し、教育学的技能を備えていなければならない。
  - 貧困地域、国境地域、島嶼部、遠隔地、少数民族、奨励政策の受益者に対する教育開発への投資に重点を置く。教育への民主主義と民間部門の関与を奨励する。
  - 外国語と情報技術を実践的に教え、学習者の能力を向上させる。少数民族の言語教育に注意を払い、海外のベトナム人にベトナム語とベトナム文化を教える。
  - 義務教育課程を現代化・簡素化する方向で策定・標準化し、知識は低学年で一般化、高学年で専門化する。学習者に合った教科書や教材を作成し、少数民族や障害者に配慮する。
  - 奨励政策の受益者、少数民族の支援に関する政策、および経済的苦境にある学生への信用供与に関する政策を完成させ続ける。

## 2020年オンライン教育普及<sup>[2]</sup>

1. 制定年: 2020年
2. 管轄省庁: ベトナム教育訓練省 (Ministry of Education and Training)
3. 初等学校に関する概要:
  - 政府は、普通教育機関に対するオンライン授業実施管理規定通達の草案について意見聴取
  - 新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校への対応に迫られたためではあるが、この通達が正式に発出されれば、小中学校におけるオンライン授業が必須となる
  - 学校で行うオンライン教育の役割として以下が想定されている
    - オフライン授業を補助
    - オフライン授業の一部を代替
    - オフライン授業のすべてを代替
  - コロナウイルスの流行で、幼児教育から高校3年生までの授業動画を収めた「Eラーニング授業ストレージ」(<https://elearning.moet.edu.vn>)のEラーニング教材が活用された学校もあった。

出所)[1]LawNet, No. 29NQ/TW Hanoi, November 04, 2013 RESOLUTION, <https://lawnet.vn/en/vb/Resolution-No-29-NQ-TW-fundamental-and-comprehensive-innovation-in-education-35932.html> (閲覧日: 2024年2月16日)

[2] JETROベトナム教育(EdTech)産業調査 [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101\\_r2.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101_r2.pdf) (閲覧日: 2024年2月16日)



# GDPおよび教育分野への支出

- ベトナムは2010年に世界銀行より中所得国として認定されている。
- 経済成長率はプラス5～7%で成長。新型コロナウイルスの感染拡大時には一時的に鈍化するも、ASEAN圏内で唯一の2年連続でのプラス成長を維持。
- 世界との比較における教育分野への公的資金規模は中程度  
(対GDP比世界80位/150ヶ国、政府総支出比 世界68位/144ヶ国、2018年のUNESCO統計)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
名目GDP(bilUSD)	155.82	171.22	186.2	193.24	205.28	223.78	245.21	261.92
GDP成長率(%)	5.2	5.4	6	6.7	6.2	6.8	7.1	7
1人当たり名目GDP(USD)	1,735	1,887	2,030	2,085	2,192	2,366	2,567	2,715
消費者物価指数上昇率(%)	8.3	6.2	3.9	0.6	2.6	3.4	3.5	2.7
教育分野への国の支出(対GDP比)	5.5	5.7	-	-	4.3	-	4.2	-
教育分野への国の支出(対総支出比率)	13	14.3	15.8	13.9	13.7	15	14.3	14

出所)JETRO、ベトナム 教育(EdTech)産業調査、[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101\\_r2.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101_r2.pdf) (閲覧日:2024年2月21日)より作成

# 所得格差

- 2022年の1人当たりの月間平均所得は467万ドンで、2年間で約1割増加。
- 都市部、農村部の伸びは、2012年-2022年比で都市部が約2倍、農村部が2.4倍であり、農村部の伸びが大きいですが、依然として両者には約1.5倍の格差が存在する。
- 所得階層別においては2012年時点での高所得層と低所得層の差は約9.3倍であったが、2022年は7.6倍と、以前開きがあるものの縮小傾向。
- 2020年のハザン省の月間平均所得は169万ドンであり、最も高いホーチミン596万ドンとの差は3.5倍である。

ベトナムの一人当たり月間平均所得(単位1000VND)

	2012年	2014年	2016年	2018年	2020年	2022年
全国	2,000	2,637	3,098	3,874	4,249	4,673
都市部	2,989	3,965	4,551	5,624	5,590	5,945
農村部	1,579	2,038	2,423	2,987	3,480	3,864
グループ1	512	660	771	923	1,139	1,352
グループ2	984	1,314	1,517	1,907	2,491	2,702
グループ3	1,500	1,972	2,301	2,930	3,528	3,866
グループ4	2,223	2,830	3,356	4,293	4,896	5,207
グループ5	4,785	6,413	7,547	9,318	9,193	10,237

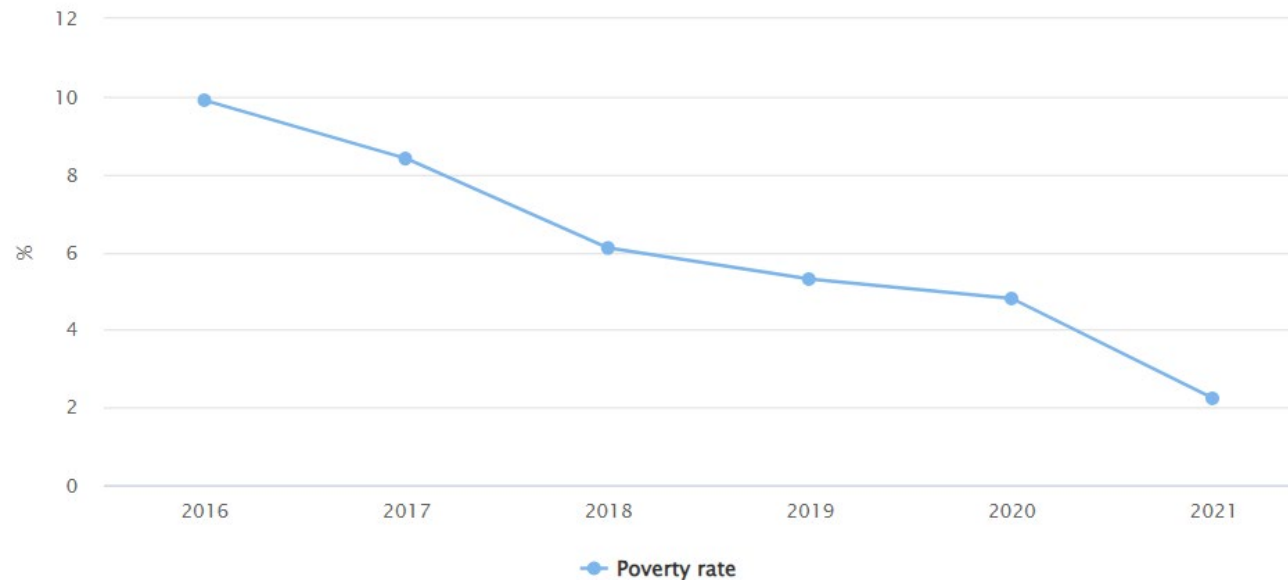
注) グループ1～5は、下位20%の所得階層をグループ1として、その後20%ごとにグループ5まで区分したものの。

出所) JETRO、2022年版家計生活水準調査結果を公表、所得上昇で食生活に変化(ベトナム)、<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/05/33843ddcc522eb12.html> (閲覧日: 2024年2月18日)より作成

# 貧困

- ベトナムの2021年の貧困率は人口の2.23%で2020年の2.75%から低下(改善)
- ハノイ、ホーチミン、ダナン等の大都市で貧困家庭が記録されない一方で、ディエンビエン省は27.33%、ハザン省は18.54%と以前地方部での貧困率は高い。

## Annual Poverty rate



出所)ベトナム政府、Poverty rate drops to 2.23%、<https://en.baochinhphu.vn/poverty-rate-drops-to-223-111220225113741302.htm>  
(閲覧日:2024年02月21日)

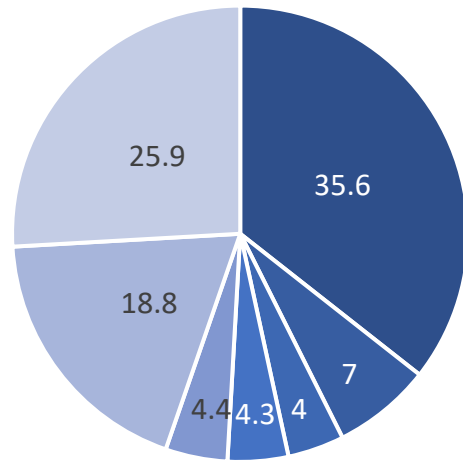
## 教育費

- ベトナムでは、政令81/2021/ND-CPにおいて公立初等教育の授業料は無償と規定されている。
- ただし、授業料以外に、課外授業や放課後授業、制服や教科書購入費、給食・飲料水代、設備修繕・寄付金等の教育関連費用について支払いが必要となる。当該費用は、新学期の始まる9月に学校側が一括徴収することが法律で認められている。
- 近年、授業料以外の支払い額の高騰が問題となっている。一部の学校では法律で上限額の規制を受けない項目に対する過剰な請求が発生し、当局から見直しの始動が行われるケースも発生している。
- 中等教育以降の授業料は有償であるが、低所得家庭、少数民族、山岳地域等の通学困難地域居住者等、条件を満たすものに対して学費が免除される。ホーチミン市、ダナン市等の一部の地域では、市による補助により相殺する形で中等教育の実質無償化を進めている。

# 家庭における教育への投資

- 2018年の子ども1人当たりの平均教育費は年間約662万VND。内、学費が37%、塾代が19%を占める。
- 家計に占める教育費の割合は収入が低いほど高い。収入最下位20%層(下表グループ1)では月収の20.5%を占めており、低所得者層にとって教育費の負担は高い。
- 学習塾が教育費に占める割合は、収入が高いほど大きく、所得格差による教育投資格差が見られる。

一人あたりの年間教育費内訳(%)



■ 学費 ■ 寄付 ■ 制服 ■ 教科書 ■ 教材 ■ 学習塾 ■ その他

家計における教育費への投資と負担

	単位	平均	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
平均月収	千VND	3876	923	1907	2930	4293	9318
世帯当たり人数	人	3.7	4	3.9	3.8	3.7	3.3
就学者1人あたり 月間教育費 (平均月収に対する割合)	千VND	552 (14.2%)	191 (20.5%)	379 (19.9%)	474 (16.2%)	646 (15.1%)	1,230 (13.2%)
就学者1人あたり 教育費に占める 学習塾費(比率)	千VND	104 (18.8%)	25 (13.1%)	57 (15.0%)	86 (18.1%)	138 (21.4%)	247 (20.1%)

注) グループ1～5は、下位20%の所得階層をグループ1として、その後20%ごとにグループ5まで区分したものの。

出所) JETROベトナム 教育(EdTech)産業調査 [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101\\_r2.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2021/db6cdef49e854b9a/202101_r2.pdf) (閲覧日: 2024年2月16日) をもとに作成

## 社会的観点からの分析

- ベトナムにおいては共同体を重視し、学業に専心し、目上の人に敬意を払うといった姿勢を身に着ける観点から初等教育の役割が重視されている。
- 一方で、初等教育の環境は、都市部と農村部での違いや、民族間での違いといった格差が見られる。Thâm Luông小学校が立地するハザン省は山岳部、かつ農村部が多い地域であり、少数民族が多く暮らす地域でもある。

### 少数民族の課題

- 少数民族は独自の文化や言語を持っており、ベトナム政府において公教育においても文化的多様性を尊重する方針がとられているが、現実的には、少数民族における貧困率は高いこと(代表的な少数民族であるモン族の貧困率は66%)<sup>※1</sup>や、ベトナムにおける初等教育は9割以上の就学率であるものの、農村部における後期中等教育での就学率は約2割である等、十分な教育を修めてその後の成功を実現するための環境が整っていない状況にある。

### 就学における課題

- また、山岳地域においては、児童が歩いて往来できる距離に教育施設があるとは限らない、農作業の人手のため、保護者が子供を学校に行かせたがらない、少数民族においては独自の言語が使われるため、学校を卒業した後にベトナム語を使う機会が限られる、等の理由により、就学におけるハードルもある。<sup>※2</sup>

出所)  
 ※1 NGOワールドビジョンジャパン、少数民族とは？ベトナムの少数民族を支援しよう  
[https://www.worldvision.jp/children/poverty\\_11.html#d0e9d87eb78fa54e47cd213ca7606442](https://www.worldvision.jp/children/poverty_11.html#d0e9d87eb78fa54e47cd213ca7606442)、(閲覧日:2024年3月4日)  
 ※2 京都大学アジアアフリカ地域研究、ベトナムモン族に対する言語教育を通じた国民化政策(山部、2014)  
 、 [https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/dl/publications/no\\_1401/AA1401-03\\_Yamabe.pdf](https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/dl/publications/no_1401/AA1401-03_Yamabe.pdf) (閲覧日:2024年3月4日)

## (参考)ハザン省の状況

### ● ハザン(河楊)省

- 人口約90万人。18～22の少数民族が暮らす山岳地帯。中国雲南省と国境を接する。
- 少数民族の多くはモン族。(ベトナムの主要民族はキン族。モン族は中国(苗族)、タイ、ミャンマー、ラオス、ベトナム等の山岳地帯にすむ民族。)
- 地理的には山の斜面に棚田と家屋が点在するようなエリア。

### ● イエンミン(安銘)県

- 人口は97,553人。
- 対象となる学校はDu Giàコミュニティ(人口8,424人)のThâm Luông村(人口数百人規模)に所属。Du Giàコミュニティは14の村、9つの少数民族を持つ。風光明媚な場所であることから現地では「妖精の国」と呼ばれている。
- Thâm Luông村はDu Giàコミュニティが位置する盆地から少し山に入ったエリアに立地。



ハザン省  
Hà Giang  
約90万人

イエンミン県  
Yên Minh  
約10万人

ドゥザーコミュニティ  
Du Già  
約9千人

タムルオン村  
Thâm Luông  
約数百人

出所) Vietjo、ハザン省、<https://www.viet-jo.com/m/home/province.php?id=25&name=%E3%83%8F%E3%82%B6%E3%83%B3%E7%9C%81>、(閲覧日: 2024年3月4日)

Ha Giang Loop Tour、How to get to Du Gia Village in Ha Giang、<https://hagianglooptours.com/how-to-get-to-du-gia-village-in-ha-giang/>、(閲覧日: 2024年3月4日)

## (参考) イエンミン県データ

- イエンミン県(安銘)の初等教育の就学率は100%に近いが正規年齢就学率では96%。高等教育の就学率が低い。
- イエンミン県(安銘)の少数民族はモン族が多い。

Table 5: Overall school attendance rate and net school attendance rate at all educational levels by district/city administrative unit, April 1, 2019

Unit: %

	Primary		Middle school level		High school level	
	Overall school attendance rate	School attendance rate at correct age	Overall school attendance rate	School attendance rate at correct age	Overall school attendance rate	School attendance rate at correct age
	WHOLE PROVINCE	100.3	96.4	82.3	78.0	41.4
Ha Giang City	100.4	99.0	97.9	96.0	94.5	91.5
Dong Van district	102.0	95.3	68.7	63.5	14.6	12.4
Meo Vac District	95.1	91.2	69.1	65.8	12.5	11.4
Yen Minh district	100.4	95.9	69.4	65.6	26.2	24.0
Quan Ba District	101.8	98.4	93.5	86.0	37.9	32.8
Vi Xuyen district	101.7	98.4	91.7	87.1	55.5	52.9
Bac Me district	100.1	96.1	77.4	74.1	35.6	33.0

Unit of measure: Person

	total		City		Countryside				
	Total Male	Female	Total Male	Female	Total Male	Female	Total Male	Female	
	Yen Minh district	97,553	49,440	48,113	8,129	4,037	4,092	89,424	45,403
1. Sutra	3,370	1,776	1,594	2,218	1,155	1,063	1,152	621	531
2. Tay	11,865	5,895	5,970	2,298	1,090	1,208	9,567	4,805	4,762
3. Thai	19	9	ten	9	4	5	ten	5	5
4. Flowers	560	306	254	93	36	57	467	270	197
5. Muong	---	41	---	26	13	13	---	28	33
6. Nung	4,387	2,251	2,136	897	460	437	3,490	1,791	1,699
7. Mong	56,113	28,391	27,722	643	325	318	55,470	28,066	27,404
8. Knife	13,939	7,046	6,893	693	332	361	13,246	6,714	6,532
9. San Chay	88	43	45	34	14	20	54	29	25
10. San Diu	ten	3	7	2	-	-	8	2	6
11. Shoes	6,231	3,208	3,023	1,122	560	562	5,109	2,648	2,461
12. La Chi	---	5	7	3	2	-	9	3	6
13. Phu La	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14. Lo Lo	---	4	8	8	4	4	4	-	4
15. Pa Then	6	2	4	3	2	-	3	-	3
16. Co Lao	574	316	258	---	5	7	562	311	251
17. Dad Y	---	---	30	40	23	17	21	8	13
18. Pu Peo	217	112	105	27	11	16	190	101	89
19. The remaining ethnic groups	2	-	-	-	-	-	-	-	-
* Foreigner	-	-	-	-	-	-	-	-	-
* Unknown	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所) ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)



# (参考) イエンミン県データ

- イエンミン県は若い世代ほど人口が多い。
- イエンミン県の平均世帯人数は5.1人。(ハザン市3.5人と比べると大家族)

**5** (Continued) POPULATION BY AGE GROUP, URBAN, RURAL, GENDER AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNITS April 1, 2019

Unit of measure: Person

	total			City			Countryside		
	Shared	Male	Female	Chung Nam		Chung Nam		Female	
				Chung Nam	Female	Chung Nam	Female		
<b>Yen Minh district</b>	<b>97,553</b>	<b>49,440</b>	<b>48,113</b>	<b>8,129</b>	<b>4,037</b>	<b>4,092</b>	<b>89,424</b>	<b>45,403</b>	<b>44,021</b>
0-4	13,488	6,908	6,580	893	451	442	12,595	6,457	6,138
5-9	13,451	6,870	6,581	872	472	400	12,579	6,398	6,181
10-14	10,952	5,657	5,295	767	388	379	10,185	5,269	4,916
15-19	8,834	4,747	4,087	703	333	370	8,131	4,414	3,717
20-24	8,393	4,582	3,811	422	227	195	7,971	4,355	3,616
25-29	8,446	4,496	3,950	721	354	367	7,725	4,142	3,583
30-34	7,506	3,874	3,632	913	433	480	6,593	3,441	3,152
35-39	5,826	2,957	2,869	653	348	305	5,173	2,609	2,564
40-44	5,036	2,584	2,452	576	308	268	4,460	2,276	2,184
45-49	4,291	2,068	2,223	484	240	244	3,807	1,828	1,979
50-54	3,489	1,626	1,863	386	185	201	3,103	1,441	1,662
55-59	2,804	1,258	1,546	309	140	169	2,495	1,118	1,377
60-64	1,649	672	977	164	76	88	1,485	596	889
65-69	1,166	460	706	97	30	---	1,069	430	639
70-74	916	305	611	---	24	43	849	281	568
75-79	574	189	385	43	ten	33	531	179	352
80-84	377	110	267	32	ten	22	345	100	245
85+	355	77	278	27	8	19	328	69	259

**8** NUMBER OF HOUSEHOLDS ACCORDING TO THE SIZE OF THE NUMBER OF PEOPLE IN THE HOUSEHOLD AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNITS, April 1, 2019

	total (Household)	Size of number of people in household (Household)							Household size Average (Person/household)
		1 person	2 people	3 people	4 people	5 people	6 people	7 people or more	
<b>WHOLE PROVINCE</b>	<b>190,777</b>	<b>8,220</b>	<b>18,011</b>	<b>30,226</b>	<b>49,627</b>	<b>36,510</b>	<b>24,837</b>	<b>23,346</b>	<b>4.45</b>
Ha Giang City	15,577	1,410	2,841	3,678	3,926	2,333	935	454	3.50
Dong Van district	16,539	684	1,058	1,873	3,723	3,447	2,567	3,187	4.92
Meo Vac District	16,835	684	1,078	1,954	3,390	3,343	2,575	3,811	5.09
<b>Yen Minh district</b>	<b>19,023</b>	<b>704</b>	<b>1,135</b>	<b>2,048</b>	<b>3,983</b>	<b>3,909</b>	<b>3,043</b>	<b>4,201</b>	<b>5.10</b>
Quan Ba District	12,405	599	1,197	2,032	3,393	2,481	1,579	1,124	4.29

## (参考)イエンミン県データ

- イエンミン県の世帯当たり子供の人数は最頻値は2人(40%)だが、3人(22%)、4人(11%)、5人以上(9%)もそれなりに多い。
- ハザン市は外に出ていく移住者が多いが、イエンミン県はそれほど多くない(県内で定住)。
- 背景に、イエンミン県に多いモン族の特徴として、①多子家庭を重視、②コミュニティー重視、③男性中心社会でモン族内で結婚する(男性が全資産の権利を持つ)、等がある。

**15** (Continued) PROPORTION OF WOMEN 10-49 YEARS OLD WHO HAVE GIVEN CHILDREN BY THE NUMBER OF CHILDREN EVER BIRTH, MOTHER AGE GROUP, URBAN, RURAL UNIT AND ADMINISTRATIVE UNIT DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

Unit: %

	Number of children born					
	total	1 child	2 children	3 children	4 children	5 children or more
<b>Divided by district/city</b>						
Ha Giang City	100.00	32.94	59.74	6.69	0.52	0.11
Dong Van district	100.00	17.94	40.73	23.29	11.65	6.39
Meo Vac District	100.00	17.74	33.55	22.3	12.85	13.56
Yen Minh district	100.00	17.99	40.26	21.71	10.91	9.13
Quan Ba District	100.00	17.59	50.04	20.16	7.57	4.64
Vi Xuyen district	100.00	23.02	56.34	15.06	3.86	1.72
Bac Me district	100.00	18.39	48.71	18.64	7.75	6.51
Hoang Su Phi district	100.00	20.13	55.29	18.67	3.39	2.52
Xin Man district	100.00	19.38	49.17	18.37	8.65	4.43
Bac Quang district	100.00	27.57	58.37	11.06	1.97	1.03
Quang Binh district	100.00	26.87	58.89	11.8	1.9	0.54

**23** IMMIGRATION RATE, Emigration RATE AND NET MIGRATION RATE BY GENDER AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNITS, April 1, 2019

Unit: %

	Immigration rate	Emigration rate	Net migration rate
<b>WHOLE PROVINCE</b>	<b>5.20</b>	<b>23.84</b>	<b>-18.64</b>
Ha Giang City	36.04	71.12	-35.08
Dong Van district	8.46	53.03	-44.57
Meo Vac District	12.57	16.69	-4.12
Yen Minh district	13.86	25.80	-11.94
Quan Ba District	12.49	30.70	-18.21
Vi Xuyen district	11.73	29.27	-17.54
Bac Me district	8.95	26.54	-17.58
Hoang Su Phi district	8.71	18.72	-10.01
Xin Man district	12.11	15.84	-3.73
Bac Quang district	12.02	36.43	-24.41
Quang Binh district	13.19	31.21	-18.02

出所)ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

## (参考)イエンミン県データ

- イエンミン県では、小学校世代の就学率はほぼ100%(9割以上)であるが、35歳以上の世代では学校に行かなかった人の方が多い。

**25** (Continued) PROPORTION OF POPULATION 5 YEARS AND OVER BY SCHOOL STATUS, GENDER, URBAN, RURAL AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNITS, April 1, 2019

Unit: %

	Going to school			Dropped out of school			Never went to school		
	Chung Nam	Female		Chung Nam	Female		Chung Nam	Female	
<b>Yen Minh district</b>									
<b>total</b>	<b>28.69</b>	<b>30.06</b>	<b>27.28</b>	<b>44.20</b>	<b>50.58</b>	<b>37.65</b>	<b>27.12</b>	<b>19.35</b>	<b>35.07</b>
05-09 years old	97.72	98.28	97.13	0.99	0.66	1.34	1.29	1.06	1.53
10-14 years old	79.59	84.18	74.69	16.84	13.81	20.08	3.57	2.02	5.23
15-19 years old	23.45	24.52	22.22	65.45	69.18	61.12	11.09	6.30	16.66
20-24 years old	0.44	0.70	0.13	80.63	89.59	69.85	18.93	9.71	30.02
25-29 years old	0.62	0.58	0.66	76.88	86.01	66.48	22.51	13.41	32.86
30-34 years old	0.83	0.80	0.85	71.16	81.57	60.05	28.02	17.63	39.10
35-39 years old	0.41	0.57	0.24	58.86	71.29	46.04	40.73	28.14	53.71
40-44 years old	0.16	0.12	0.20	44.90	52.83	36.54	54.94	47.06	63.25
45-49 years old	0.02	-	0.04	38.62	45.70	32.03	61.36	54.30	67.93
50-54 years old	-	-	-	35.28	42.44	29.04	64.72	57.56	70.96
55-59 years old	-	-	-	33.92	41.97	27.36	66.08	58.03	72.64
60+	-	-	-	25.09	35.08	19.48	74.91	64.92	80.52

出所)ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

# (参考) イエンミン県データ

- イエンミン県内の小学校就学率は、農村部(94.5%)の方が都市部(98.6%)よりやや落ちる。
- 後期中等教育の就学率ではより顕著となり、農村部(16.0%)が都市部(88.4%)よりも大きく落ちる。

26 GENERAL SCHOOL ATTENDANCE RATE, TRUE AGE SCHOOL ATTENDANCE RATE AT PRIMARY SCHOOL BY GENDER, URBAN, RURAL AND ADMINISTRATIVE UNIT DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

	Unit: %					
	Primary school attendance rate			Primary school net attendance rate		
	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female
WHOLE PROVINCE	100.3	101.4	99.2	96.4	97.1	95.7
Ha Giang City	100.4	100.4	100.5	99.0	98.8	99.2
Dong Van district	102.0	104.0	99.9	95.3	98.7	93.9
Meo Vac District	95.1	97.9	92.3	91.2	93.4	88.9
Yen Minh district	100.4	101.7	99.1	95.9	96.9	94.7
Quan Ba District	101.8	102.5	101.2	98.4	98.5	98.3
Vi Xuyen district	101.7	102.7	100.8	98.4	98.8	98.1
Bac Me district	100.1	101.1	99.0	96.1	96.6	95.5
Hoang Su Phi district	101.2	101.9	100.4	97.0	97.0	97.0
Xin Man district	101.0	101.7	100.4	97.0	97.2	96.7
Bac Quang district	101.0	101.3	100.7	98.3	98.2	98.3
Quang Binh district	100.6	100.8	100.4	98.4	98.5	98.4
City	100.6	100.8	100.4	98.4	98.5	98.4
Ha Giang City	100.1	100.1	100.0	99.0	98.8	99.2
Dong Van district	100.4	100.2	100.7	97.1	97.3	96.8
Meo Vac District	101.5	101.3	101.7	97.8	97.7	98.0
Yen Minh district	101.7	102.3	101.1	98.9	99.1	98.6
Quan Ba District	101.4	102.5	100.3	98.8	99.4	98.2
Vi Xuyen district	101.9	102.6	101.0	99.3	99.6	99.0
Bac Me district	100.4	99.8	101.1	98.2	98.1	98.3
Hoang Su Phi district	100.4	101.2	99.6	99.2	99.6	98.8
Xin Man district	97.4	97.3	97.4	95.5	95.6	95.5
Bac Quang district	101.1	101.5	100.6	98.8	99.0	98.5
Quang Binh district	100.1	100.0	100.3	97.2	97.6	97.6
Countryside	100.3	101.5	99.0	96.1	96.9	95.3
Ha Giang City	101.8	101.3	102.4	99.0	98.9	99.2
Dong Van district	102.2	104.5	99.8	95.1	96.6	93.5
Meo Vac District	94.7	97.6	91.8	90.7	93.1	88.4
Yen Minh district	100.3	101.7	98.9	95.7	96.8	94.5
Quan Ba District	101.9	102.5	101.3	98.4	98.4	98.3
Vi Xuyen district	101.7	102.7	100.7	98.2	98.4	98.0
Bac Me district	100.0	101.3	98.7	95.8	96.4	95.2
Hoang Su Phi district	101.2	101.9	100.5	96.8	96.8	96.9
Xin Man district	101.4	102.1	100.6	97.1	97.4	96.8
Bac Quang district	101.0	101.2	100.7	98.2	98.1	98.3
Quang Binh district	100.7	100.9	100.4	97.9	97.8	98.0

28 GENERAL SCHOOL ATTENDANCE RATE, TRUE AGE SCHOOL ATTENDANCE RATE AT HIGH SCHOOL BY GENDER, URBAN, RURAL AND ADMINISTRATIVE UNIT DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

	Unit: %					
	High school attendance rate			Percentage of school attendance at the high school level		
	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female
WHOLE PROVINCE	41.4	42.0	40.7	38.5	38.1	39.0
Ha Giang City	94.5	93.1	95.8	91.5	89.3	93.5
Dong Van district	14.6	19.5	9.5	12.4	15.8	8.9
Meo Vac District	12.5	13.2	11.6	11.4	11.8	10.9
Yen Minh district	26.2	26.2	26.2	24.0	23.5	24.6
Quan Ba District	37.9	43.1	32.2	32.8	35.9	29.3
Vi Xuyen district	55.5	55.2	55.9	52.9	51.7	54.1
Bac Me district	35.6	39.8	31.2	33.0	35.8	30.2
Hoang Su Phi district	34.8	38.4	30.9	31.3	33.8	28.6
Xin Man district	33.7	36.7	30.2	30.8	32.9	28.3
Bac Quang district	70.2	68.5	72.0	66.4	63.2	69.6
Quang Binh district	60.8	60.8	60.7	56.0	54.4	57.8
City	83.9	83.5	84.3	80.7	79.0	82.3
Ha Giang City	96.7	94.8	98.3	94.4	92.0	96.5
Dong Van district	34.8	41.2	27.8	31.3	34.8	27.3
Meo Vac District	57.9	61.2	54.3	55.4	58.5	52.2
Yen Minh district	93.2	94.3	92.4	85.6	82.0	88.4
Quan Ba District	82.3	84.1	80.6	74.9	74.8	75.0
Vi Xuyen district	85.1	84.1	86.2	82.2	80.5	84.1
Bac Me district	64.8	66.1	63.2	62.1	61.7	62.6
Hoang Su Phi district	79.9	81.9	77.8	75.7	79.2	72.2
Xin Man district	44.3	48.8	39.5	43.1	47.3	38.7
Bac Quang district	92.0	93.2	90.9	89.2	88.9	89.4
Quang Binh district	74.2	75.0	73.3	70.5	69.6	71.6
Countryside	33.1	34.5	31.5	30.3	30.7	29.8
Ha Giang City	82.2	83.9	80.5	74.9	75.0	74.8
Dong Van district	12.2	16.8	7.4	10.2	13.5	6.8
Meo Vac District	9.8	10.4	9.0	8.8	9.1	8.4
Yen Minh district	18.8	20.0	17.3	17.2	18.1	16.0
Quan Ba District	33.8	39.5	27.4	28.9	32.5	24.8
Vi Xuyen district	51.2	50.8	51.6	48.5	47.3	49.8
Bac Me district	31.7	36.1	27.3	29.2	32.1	26.2
Hoang Su Phi district	32.4	36.2	28.3	28.9	31.5	26.2
Xin Man district	32.9	35.8	29.4	29.8	31.9	27.4
Bac Quang district	63.8	61.8	65.9	59.6	56.2	63.2
Quang Binh district	59.0	58.8	59.2	54.1	52.3	56.1

RESULTS OF THE POPULATION AND HOUSING CENSUS AT 0:00 APRIL 1, 2019 / 103

出所) ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

## (参考)イエンミン県データ

- イエンミン県において小学校に行っていない児童の割合はハザン市に比べて高い。
- イエンミン県内においては、都市部よりも農村部の方が小学校に行っていない児童の割合が高い。
- 後期中等教育では、イエンミン県内の農村部では8割が学校に行っていない。

**30** PROPORTION OF THE POPULATION OF PRIMARY SCHOOL AGE WHO DOES NOT GO TO SCHOOL BY URBAN, RURAL, GENDER AND ADMINISTRATIVE UNIT DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

	Unit: %								
	total			City			Countryside		
	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female
WHOLE PROVINCE	2.70	2.05	3.39	0.81	0.75	0.89	3.01	2.27	3.78
Ha Giang City	0.63	0.74	0.52	0.62	0.69	0.55	0.68	0.95	0.40
Dong Van district	3.38	2.07	4.69	1.43	1.21	1.66	3.63	2.19	5.06
Meo Vac District	7.65	5.37	9.95	1.21	1.02	1.43	8.07	5.67	10.46
Yen Minh district	3.31	2.32	4.34	0.49	0.45	0.54	3.50	2.45	4.58
Quan Ba District	0.91	0.89	0.94	0.31	0.32	0.31	0.98	0.95	1.01
Vi Xuyen district	1.27	1.14	1.40	0.42	0.26	0.58	1.40	1.28	1.52
Bac Me district	3.02	2.52	3.56	1.18	0.97	1.43	3.26	2.74	3.83
Hoang Su Phi district	1.96	2.01	1.90	0.39	0.39	0.39	2.08	2.13	2.02
Xin Man district	2.10	1.71	2.49	3.63	3.05	4.18	1.96	1.59	2.34
Bac Quang district	1.01	1.02	0.99	0.54	0.50	0.58	1.11	1.14	1.07
Quang Binh district	0.68	0.61	0.77	0.28	0.53	0.00	0.74	0.62	0.87

**32** PROPORTION OF POPULATION AT HIGH SCHOOL SCHOOL AGE BUT DO NOT GO TO SCHOOL BY URBAN, RURAL, GENDER AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNITS, April 1, 2019

	Unit: %								
	total			City			Countryside		
	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female
WHOLE PROVINCE	54.53	53.50	55.63	14.57	15.27	13.91	62.36	60.44	64.46
Ha Giang City	6.32	7.30	5.46	3.83	5.08	2.74	20.67	19.20	22.12
Dong Van district	78.40	73.25	83.81	52.27	46.15	59.09	81.45	76.51	86.59
Meo Vac District	83.10	82.01	84.39	38.25	37.41	39.13	85.76	84.52	87.23
Yen Minh district	70.00	68.75	71.43	11.68	14.29	9.57	76.48	73.72	79.79
Quan Ba District	54.24	48.42	60.72	19.53	17.76	21.30	57.48	51.11	64.64
Vi Xuyen district	38.88	37.92	39.84	7.71	9.42	5.88	43.48	42.26	44.69
Bac Me district	61.38	57.71	65.20	34.62	34.97	34.19	64.89	60.91	68.97
Hoang Su Phi district	59.73	56.10	63.66	18.06	15.28	20.83	61.92	58.15	66.01
Xin Man district	62.98	60.77	65.56	50.20	45.74	54.84	63.97	61.87	66.44
Bac Quang district	26.77	28.55	24.99	6.55	6.41	6.68	32.74	34.54	30.86
Quang Binh district	38.20	38.19	38.22	23.48	21.62	25.86	40.14	40.51	39.73

出所)ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

## (参考)イエンミン県データ

- イエンミン県の識字率(読み書き可能な割合)は全体で59%。都市部では9割以上だが農村部では55%。若い世代ほど識字率高い。
- イエンミン県の9割は農業に従事。一部、都市部エリアの半数はサービス業に従事。

**33** (Continued) PROPORTION OF POPULATION 15 YEARS AND OVER WHO CAN READ AND WRITE BY AGE GROUP, URBAN, RURAL, GENDER AND DISTRICT/CITY LEVEL ADMINISTRATIVE UNIT, April 1, 2019

Unit: %

	Unit: %								
	total			City			Countryside		
	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female	Shared	Male	Female
<b>Yen Minh district</b>	<b>58.9</b>	<b>70.3</b>	<b>47.4</b>	<b>92.4</b>	<b>94.9</b>	<b>90.0</b>	<b>55.4</b>	<b>67.8</b>	<b>42.8</b>
15-19	86.3	91.9	79.7	99.4	99.1	99.7	85.1	91.4	77.7
20-24	78.2	88.0	66.4	96.9	99.6	93.8	77.2	87.4	64.9
25-29	74.4	84.2	63.2	96.3	97.7	94.8	72.3	83.1	59.9
30-34	68.7	79.8	56.8	97.5	98.6	96.5	64.7	77.4	50.8
35-39	55.1	68.6	41.2	95.7	97.1	94.1	50.0	64.8	34.9
40-44	40.1	48.6	31.2	90.6	92.5	88.4	33.6	42.7	24.2
45-49	33.2	40.8	26.2	86.6	89.6	83.6	26.5	34.4	19.2
50-54	29.7	37.5	22.9	84.2	85.4	83.1	22.9	31.4	15.6
55-59	29.4	39.0	21.5	83.8	86.4	81.7	22.6	33.1	14.2
60-64	24.0	35.6	16.1	85.4	90.8	80.7	17.2	28.5	9.7
65-69	22.9	32.6	16.6	78.4	86.7	74.6	17.9	28.8	10.5
70-74	18.7	31.8	12.1	76.1	95.8	65.1	14.1	26.3	8.1
75-79	16.0	27.0	10.6	67.4	90.0	60.6	11.9	23.5	6.0
80+	10.2	22.5	6.1	54.2	77.8	43.9	6.4	16.6	3.0

**38** (Continued) PROPORTION OF EMPLOYED LABOR BY ECONOMIC REGION, OCCUPATION, GENDER, URBAN, RURAL, AND ADMINISTRATIVE UNIT DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

Unit: %

	Unit: %				
	total	Urban, rural		Sex	
		City	Countryside	Male	Female
<b>Yen Minh district</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>
<b>Divided by economic sector</b>					
<b>Agriculture, forestry and fisheries</b>	<b>88.48</b>	<b>45.71</b>	<b>92.49</b>	<b>87.60</b>	<b>89.37</b>
Industry and construction	2.50	5.27	2.24	3.80	1.17
Service	9.02	49.02	5.27	8.60	9.46
Unknown					
<b>Sort by profession</b>					
Leaders	0.67	4.85	0.28	0.96	0.38
High level technical expertise	3.50	20.43	1.91	2.61	4.42
Mid-level technical expertise	1.34	6.85	0.83	0.77	1.93
Office assistant	0.59	2.70	0.40	0.80	0.38
Personal service, security, sales	2.27	13.01	1.26	2.26	2.27
Skilled workers in agriculture, forestry and fisheries	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
Manual labor	1.33	2.32	1.23	2.27	0.36
Assemblers, machinery and equipment	0.66	0.99	0.63	1.07	0.25
Simple labor	89.64	48.85	93.46	89.26	90.01
Not classified					

出所)ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

## (参考)イエンミン県データ

- イエンミン県の世帯数は都市部2000世帯、農村部17000世帯。Du Giaコミュニティは1573世帯。
- イエンミン県ではテレビを持っている世帯は63%、PC(デスクトップ・ラップトップ)は17%、モバイルは75%。

RATE OF HOUSEHOLDS BY TYPE OF HOUSEHOLD EQUIPMENT CURRENTLY USED, URBAN, RURAL AND DISTRICT/CITY ADMINISTRATIVE UNITS, April 1, 2019

55

Unit: %

	Radio/Radio Computer	Landline/ mobile/ tablet	Refrigerator	Washing machine	Hot and cold shower	Air conditioner	Motorcycles/ Motorcycles/ Electric bicycles/ Electric motorbikes	Bicycle	Canoe/boat	Car		
WHOLE PROVINCE	72.61	5.11	16.05	86.09	48.68	23.93	21.40	9.84	86.57	21.42	0.13	4.59
City	92.94	8.39	50.83	95.23	89.02	71.63	69.06	41.87	91.50	41.08	0.04	15.31
Countryside	67.83	4.34	7.91	83.94	39.18	12.70	10.18	2.30	85.41	16.79	0.15	2.07
Ha Giang City	95.64	11.65	53.28	98.11	95.34	76.27	78.65	60.00	92.57	51.33	0.08	20.75
Dong Van district	66.33	1.23	10.60	74.93	17.38	14.10	8.57	1.38	82.97	4.42	-	1.69
Meo Vac District	41.45	4.56	11.24	57.50	21.47	13.22	10.71	1.48	75.96	5.92	-	1.57
Yen Minh district	62.79	4.26	13.01	75.33	30.67	13.83	12.07	4.06	84.61	11.36	-	3.41
Quan Ba District	69.57	5.49	12.19	85.59	28.01	17.15	15.33	1.66	83.83	15.67	-	2.49
Vi Xuyen district	81.09	4.55	12.60	92.52	65.87	24.24	22.45	8.96	89.40	32.57	0.25	3.47
Bac Me district	55.16	3.50	10.92	90.15	31.62	11.34	9.72	3.34	81.92	10.21	0.74	1.93
Hoang Su Phi district	61.93	2.55	14.25	90.28	29.73	12.68	12.14	3.99	84.81	4.29	-	2.67
Xin Man district	59.36	5.08	11.87	86.13	29.76	10.73	9.47	2.34	86.01	2.02	0.09	1.91
Bac Quang district	91.78	5.73	16.39	95.16	78.43	36.65	30.09	12.68	91.61	40.18	0.24	5.67
Quang Binh district	90.09	7.57	10.64	96.22	66.70	18.25	15.12	4.14	92.24	31.99	-	3.91

(Continued) TOTAL NUMBER OF HOUSEHOLDS AND PERCENTAGE OF HOUSES WITH HOUSING BY LEVEL OF PERFORMANCE  
OF HOMES, URBAN, RURAL AND ADMINISTRATIVE UNITS  
DISTRICT/CITY LEVEL, April 1, 2019

	total	Level of solidity			
		Solid house	Semi-permanent house	Unpermanent house	Simple house
<b>Yen Minh district</b>					
Total (Household)	18,958	5,419	4,595	3,696	5,248
City	2,040	1,620	168	27	225
Countryside	16,918	3,799	4,427	3,669	5,023
Yen Minh town	2,040	1,620	168	27	225
Thang Mo commune	501	176	130	55	140
Phu Lung commune	627	356	187	53	---
Sung Trang commune	670	234	133	172	131
Bach Dich commune	750	318	112	96	224
Na Khe commune	831	247	60	41	483
Sung Thai commune	1,267	261	197	255	554
Huu Vinh commune	867	236	275	150	206
Lao Va Chai commune	1,058	151	155	446	306
Mau Due commune	1,447	392	513	262	280
Dong Minh commune	576	194	216	49	117
Mau Long commune	1,208	151	239	151	667
Ngam La commune	659	184	153	107	215
Ngoc Long commune	1,613	384	206	150	873
Duong Thuong commune	882	150	447	247	38
Lung Ho commune	1,500	48	614	695	143
Du Tien Commune	889	84	244	433	128
Du Gia Commune	1,573	233	546	307	487

出所)ベトナム統計局、2019年国勢調査、<https://www.gso.gov.vn/wp-content/uploads/2019/12/Ket-qua-toan-bo-Tong-dieu-tra-dan-so-va-nha-o-2019.pdf> (閲覧日: 2024年3月4日)

未来を問い続け、変革を先駆ける

**MRI** 三菱総合研究所